



なんよう

楠葉同窓会 会報100号記念

2014 佐賀大学楠葉同窓会

なんよう

楠葉同窓会 会報100号記念

2014

佐賀大学楠葉同窓会



楠葉同窓会誌「なんよう」100号へ寄せて

楠葉同窓会会長 石 丸 新 (S40・法律)

残暑の候、今年は天候の不順が続きまして、同窓の皆様は如何お過ごしでしょうか。アベノミクスと騒がれてはや1年、正念場に来ていますが、いい方向に向ってほしいものです。

さて楠葉同窓会会報「なんよう」も1979年（昭和54年）4月に第1号が発行されて今回で100号目になります。第1号は「佐賀大学同窓会会報」第3号から「佐賀大学楠葉会会報」第15号より現在の「なんよう」と変わってきています。

会報は、佐賀大学の現状、同窓会の活動、同窓生の動静を伝えてきました。第28号（1988.12.21）には大谷希幸（S30・法）先輩のコラム「歌は流れる」が始まりました。当時の会報を読むと、同窓生の学生時代を懐かしむ思い、同窓会に対する思いを強く感じます。今後とも同窓生が待ち望む様な会報作りを心掛けていきたいと思えます。

これまで会報を通じて、同窓会の皆さんに3度の募金のお願いをしてまいりました。最初は「佐賀大学学術振興基金」設立のため、2度目は佐賀大学創立50周年記念事業（夢の実会館の建設を含む）のため、3度目は旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合10周年記念事業として美術館設置のため多大な寄付をいただきました。

又、学生の就職支援のために多数の同窓生から就職説明会等協力いただいております。我々が卒業した佐賀大学が高校生から見て、入学したい魅力ある大学であるように、在校生が充実した学生生活を送れるように、そして我々卒業生も楽しい人生が送れますようにと願い、今後とも役員一同、より一層取り組んでまいりますのでご支援よろしくお願いいたします。





地域と共に未来に向けて

国立大学法人佐賀大学長 佛 淵 孝 夫

楠葉同窓会会報「なんよう」の100号発刊おめでとうございます。

佐賀大学の歴史を振り返りますと、1949（昭和24）年に新制国立大学として誕生した旧佐賀大学と1976（昭和51）年に無医大県解消を目的として設置された佐賀医科大学が2003（平成15）年10月に統合し、新生佐賀大学として5学部を有する総合大学となりました。その後、2004（平成16）年には、全国の国立大学と共に法人化され、早10年が過ぎました。

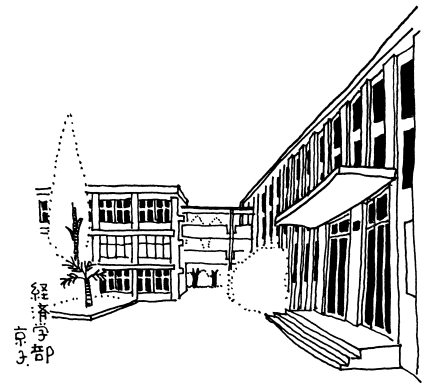
この10年間は、効率的な大学経営が求められる中で、新しい教育課程や学内施設の整備を着実に進めてまいりました。そういった中で統合10周年にあたって、同窓会や地域の皆様のお力もおかりしながら、本学のシンボルとなる正門の整備と美術館をオープンすることができました。

今日の佐賀大学は、多くの関係者の皆様方の弛みないご努力や真摯な取り組みの上にあり、こういった先人が辿ってこられた道程を忘れることなく、本学の理念でもあります「地域と共に未来へ向けて発展し続ける大学を目指して」構成員一同、邁進していきたいと思っております。どうぞこれからも皆様の母校であります佐賀大学に変わらぬ御指導と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

佐賀大学と楠葉同窓会の移り変わり

- 昭和24年 5月 旧制佐賀高等学校、佐賀師範学校、佐賀青年師範学校が合併し、新制佐賀大学が設置
- 昭和26年 4月 文理学部に農学科が増設
- 昭和28年 3月 文理学部の第一回生81名が卒業
- 昭和30年 7月 農学部設置
- 昭和31年 4月 佐賀大学文理学部同窓会創立発起人会 創立総会開催
- 昭和41年 4月 文理学部の改組により、経済、理工学部の第1回入学生を合わせ農学部、教育学部4学部合同の入学式が開催
- 昭和41年11月 経済学部の校舎が完成
- 昭和54年 4月 「佐賀大学同窓会会報」第1号発行
- 5月 文理学部同窓会を発展的に解消、楠葉同窓会が発足
初代会長に久原直行氏
同窓会主催「佐賀大学開学30周年記念式典」開催
- 昭和55年 4月 楠葉同窓会、農学部同窓会、有朋会（教育学部）連合の同窓会として「佐賀大学同窓会」設立
- 昭和58年 7月 不知火寮跡地に旧制佐賀高等学校菊葉同窓会からブロンズの記念像が贈呈 除幕式に150名が参加
- 昭和59年 6月 「楠葉会会報」第10号発行
- 昭和60年 5月 不知火寮跡地に大学会館が建設、オープン
- 10月 楠葉同窓会会報「なんよう」に名称変更 第15号発行
- 平成元年 6月 佐賀大学同窓会主催にて佐賀大学開学40周年記念式典開催
- 平成2年10月 菊葉同窓会主催 旧制佐高70周年記念式典開催
旧不知火寮跡地に歌碑建立
- 平成4年 4月 大学院経済学研究科修士課程設置
- 平成5年12月 第1回「佐賀県青春寮歌祭」開催
- 平成6年 6月 「なんよう」第50号発行
- 平成9年 9月 理工学部30周年記念式典・祝賀会
- 平成12年 5月 佐賀大学創立50周年記念「夢の実会館」落成祝賀会
- 平成15年10月 佐賀大学と佐賀医科大学 統合
- 平成16年 4月 国立大学法人佐賀大学
- 7月 会報「楠の葉」創刊号発行
- 9月 農学部50周年記念講演・祝賀会
- 平成25年 9月 佐賀大学統合10周年記念事業
記念式典・正門披露・美術館開所式・記念祝賀会

目次



楠葉同窓会誌「なんよう」100号へ寄せて	楠葉同窓会会長 石丸 新	3
地域と共に未来に向けて	佐賀大学長 佛淵 孝夫	4
佐賀大学と楠葉同窓会の移り変わり		5

楠葉同窓会誌「なんよう」100号へ寄せて

齊藤 利夫 (S24・法律)	9	平良 克次 (S42・経済)	18
陶山 良夫 (S24・経済)	10	長 安六 (S40・経済)	19
岡村 昭 (S26・法律)	11	鈴木 正美 (S44・経済)	21
小池 政雄 (S30・英文)	12	徳永 進 (S45・経済)	22
久間 善郎 (S32・法律)	13	井田 敏郎 (S46・経済)	23
梅崎 正道 (S33・経済)	14	於保 直隆 (S42・経済)	24
副島昭十郎 (S29・法律)	15	秋吉 英治 (S44・経済)	25
臼井 寛 (S30・法律)	16	西村 芳昭 (S48・経済)	26
光岡 正登 (S30・経済)	17	池田 一成 (S55・経済)	27

今の私、あの頃の私

高崎 康史 (S48・経済)	28
木下 圭 (H6・管理)	28
柿森 英典 (H5・経営)	29
吉竹 美岐 (H4・経済)	29

佐賀大学楠葉同窓会誌「なんよう」の歴史

— 1～99号を振り返って —	33
-----------------------	----

佐賀大学歴史写真館	85
-----------------	----

あとがき	91
------------	----

楠葉同窓会誌
「なんよう」100号へ寄せて



「なんよう」100号を祝福

前東京支部長 齊藤 利夫 (S24・法律)

終戦後間もなく、佐賀にも大学ができることになった。食糧事情も悪く、経済的にも大変な時代、自宅から通学できる大学というので朗報でした。入学者の大半が地元出身でした。教室には暖房もなく、寮生が襦袢姿で授業に出、古川先生（独語）よりひどく叱られたこと。社交ダンス同好会ができ、十八番教室で練習するも男だけでは面白くない誰か女子高校ダンス部より30名位連れてきた。会は盛会となり、皆大喜びであったが、1ヶ月で教務課より風紀を乱すの理由で解散となった。学生運動も活発で熱弁を奮い、ストも行なわれ、数人が退学処分となった。波乱の四年間であったが、充実した学生生活を送ることができた。

同窓会を本格的な組織として発展させようと、大谷さんはじめ和仁先生等の協力もあり葉隠荘に多数の卒業生が集まり、運動方針を協議し、会長に佐賀在住の久原さんを推し、運営することになった。会館の建設等多くの困難を乗り越え立派な会になり感謝いたしております。東京支部も健全な運営に着手し、有楽町の東京会館での会には百名を越す盛況でした。会員の多く集まる東京の更なる発展を期待しています。

「なんよう」100号を祝福し、皆様方の努力に謝意を呈します。



大学の正門前でうつす。
後列左から北島、
佐大の事務職員、西村
前列左から船津、齊藤



東京支部同窓会のとき同学生でうつす。
前列左から松熊、西岡（甲斐）
後列左から齊藤、1人おいて大野、木下



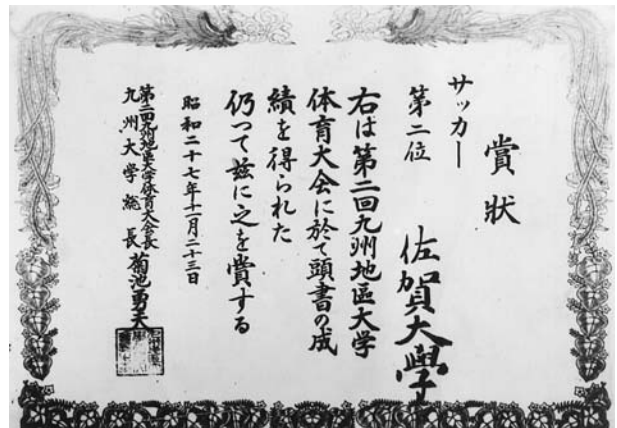
創設期のサッカー部

陶山 良夫 (S24・経済)

昭和24年新制大学の1期生として佐賀大学の門を叩いてから65年の歳月が経った今、一番の充実した思い出はサッカーとの係わりです。1年次は旧制佐賀高校との相住いで不知火寮の佐高の合宿部屋に引きずりこまれ日本一と云われたバンカラ生活を体験し旧制高校最後のインターハイに同期の故高山哲郎君とメンバーには入り込んで出場した事もありました。2年次になり新生を加えて佐賀大学サッカー部誕生し前記の高山君(医師、日本初の国際審判員)を中心にグラウンド状態最悪で馬術部が馬で走った所を馬の糞とボールを一緒に蹴り、破れたボールを繕って変形した儘荒れたグラウンドがドリブルの練習に役立った事、開学記念行事として昭和26年6月全九州大学チームを招いて圧勝した事、佐世保港に入港した英国戦艦乗組員との当時は珍しい国際試合を佐賀新聞後援で対戦、懇親パーティで「得意の英語(?)が通じたバイ」と喜び合った事、県民体育大会、国民体育大会の九州地区予選(当時は九州で1チーム)で社会人八幡製鉄に善戦した事等々、締めは4年次昭和27年11月の第2回全九州大学体育大会で久留米大学熊本短期大学福岡学芸大学を一蹴し決勝戦迄進み、私を含め故障者続出の中、鹿児島大学に敗れ準優勝チームとなれた事は卒業後の大きな財



S27. 11. 23 第2回九州地区インターカレッジ
準優勝メンバー
前列中央 芥田先生、後列左より2人目小生



第2回九州地区インターカレッジ
準優勝賞状

産となりました。今や佐大サッカー部益々健在で九州リーグ一部で活躍中と聞きグラウンドも専用の芝のピッチとか、卒業生の中にはJリーグ松本山雅のレギュラーとして頑張っている鐵戸裕司氏(30歳)他数名いると聞きます。

八十路を過ぎた今でもサッカーとは縁が切れず地区連盟の役員、Jリーグ「ガンバ大阪」の後援会長として青春時代の思い出を胸に頑張っているサッカー馬鹿です。

兵庫県川西市在住

(昭和28年文理学部経済学科卒)

(佐賀大学サッカー部初代キャプテン)

(佐賀大学同窓会関西支部長)



S26年6月3日 佐賀大学開学記念祭 全九大戦
前列左から3人目小生(CF)
後列左から4人目故高山哲郎(CH)

西久光 学長先生の思い出

岡村 昭 (S26・法律)

昭和26年入学の岡村です。

入学して間もない昭和26年6月、昭和25年にノーベル物理学賞を受賞された湯川秀樹博士が、西学長の要請で佐賀大学に講演に見えたときのことです。

その日私は、早々に講堂に入り右側最前列の席で湯川先生のお話を聴きました。

講演の前に、西久光学長から湯川博士のご紹介があったのですが、その中で、「湯川君がノーベル賞を受賞し、私も心から嬉しく思う……」と言われたのです。それを聞いてびっくりしたのは私一人ではなかった、と思います。後日ある人からお聞きしたところによれば、湯川博士は、西学長の京都大学の後輩になられる方で年齢も10歳お若かったそうです。湯川博士は、その後文化勲章も受章されています。

私は大学卒業後、門鉄局営業部へ転勤になりその後、関連事業部、熊本局課長、門鉄局の駅長等を経験して昭和57年に国鉄を退職しました。

私は子供の頃、父親の仕事の都合で関東から佐賀に移住し、佐賀市赤松小学校を卒業、戦時中、陸軍兵器学校の2年在学中に終戦となり、国鉄に復職、鉄道関係の学校と新制高校夜間部を経て漸く大学受



同期の百武不二男君

験資格をとり、昭和26年佐大文理学部に入学ができました。

入学後は島地威雄学部長、英語の石田教授、独語の松田教授、法律の糸川先生、堀部先生からご薫陶を受けました。

佐賀大の学友諸兄にも大へんお世話になり深く感謝しております。

事務局の方々にも厚く御礼申し上げます。



陸軍兵器学校 S19年入学



卒業式の日 石田八洲雄先生と眠っているのが岡村 S30年



地域に貢献する大学を願って

前楠葉同窓会副会長 小池 政雄 (S30・英文)

昭和34年文理学部英語英文学科を卒業し、1年間研究室に勤めた後、九州大学大学院で学び、昭和40年佐賀大学に赴任しました。以来定年まで勤務させていただき、日々恩師の先生方と接することができたばかりでなく、私にとっては学生であると同時に同窓生であり、学部・学科・年齢こそ違え弟、妹と同然の学生諸君と過ごすことができたことは私の人生でこの上ない幸せなことでした。

母校はその後佐賀医科大学と合併し、つい最近では美術館を持つまでに発展し慶ばしい限りです。その母校をお願いしてよければ二つのことがあります。一つは、卒業後も佐賀に残って佐賀の将来を担って

いく人材を養成するために佐賀の歴史、文化を中心にして佐賀を総合的に研究し教育する部門を設置していただきたいこと、今一つは、今後社会はますます国際化していく筈ですから外国語の必要性は高まるばかりです。そこで、学生諸君が正科に加えて自主的に語学修得に励むことができる、又職員の方々が職務上必要な外国語を自分の自由な時間を利用して研修することのできる、いわば全学共同施設として「外国語研修センター」を設置していただきたいことです。母校が地域に貢献する大学として今後ますます充実・発展していくことを切に願っています。





「なんよう」100号を祝う

元楠葉同窓会会長 久間 善郎 (S32・法律)

「なんよう」発行が100号を迎えることをお祝い申しあげると同時に共に喜びたいと思います。

年に数回手許に届く「なんよう」ですが、これを手にして目で活字を追う時間が大変嬉しいのです。

ITの進歩で、スマホ、タブレットなど、私たちの学生時代にはなかった媒体が多種多様あります。ですから、何もペーパーを使っただけの「会報」作りなど不必要と言う人たちがほとんどかも知れません。

しかし、パソコンなどの媒体に馴染めない同窓生

(特に高齢の) もいます。

また、ペーパーの会報は、届けられた封筒の封を開ければすぐに読むことができますが、パソコンなどを使っただけの会報であれば、自分でそのページを開かなければならないのが、わがままかも知れませんが、大変億劫なのです。

同窓会の現状や活動の記録、運営方針などは、これからもペーパーを使った印刷物を届けていただきたいと願う次第です。





なんよう100号特別記念号によせて

前楠葉同窓会会長 梅崎 正道 (S33・経済)

先輩達から引き継いで来た「なんよう」30数年の歳月を重ねて100号記念号を目前にしている皆様おめでとうございます。

私も編集代表者で1995年の55号から2006年の84号までの11年を30号に亘って務めた身ではあります。

世の常の会報の宿命みたいなものとして、原稿不足は常時あった様に思います。

併し、この問題も先輩・同輩相互の強引な原稿依頼等に助けられつつ継続する事が出来て『わが母校佐大の思い出』等は30回の連続物として掲載し続ける事が出来ました。

ターニングポイントとなったのは70号の頃で、それまでの年4回発行から2回発行へと発行環境に変化が生じて来たのです。

理工学部同窓会が分離独立したのです。

「なんよう」を支える柱が文理学部の卒業生と経済学部の卒業生在校生となりました。

発行回数が半減しましたので全学部共通の記事は

年3回発行の「佐賀大学広報」及び「楠の葉」に移し、71号を編集する頃から、文理・経済両学部の卒業生と教職員の交流の場として、伝言板・チョット一言、諸活動への呼び掛け等に変身させた記憶があります。

85号からは編集部を離れましたが、唯1988年12月の28号から掲載の「歌は流れる」のみは旧制佐高の白線文化と佐賀大学を継ぐ「なんよう」独自のものとして掲載中であり、大谷先輩には幾多の病いを押し口頭執筆の努力を頂いているようです。

既に64回目の労作となっています。全学30の各支部の総会の都度、そして本部同窓会の都度、自然発生的に歌われる校歌と寮歌の由緒が良く分かります。

世は移り時は変わっても、自然に口にし連綿と歌い継がれる意味は深いと思います。

続投掲載を祈り、冊子になることを願う者であります。





私の足跡雑感

元楠葉同窓会監事 副島昭十郎 (S29・法律)

「なんよう100号」の発刊、おめでとう。関係された方々に敬意を表します。これを機に「学生時代の思い出などについて」の寄稿依頼が届く。何を書いてよいのか、戸惑う。これまでの足跡の一つでも思い出してみる。

京都の山陰の山間の村（現在福知山市夜久野町）に出生。人並みに東京の大学を受験。失敗、想定範囲内。縁あって佐賀に来て、本学の文理学部（法律課程）で学ぶ。1年次は病気で前期の授業は欠席、英語・ドイツ語の期末試験は欠席を理由に受験を拒否される。担当教官に執拗に受験機会を与えてくれるよう頼む。80点の成績なら単位をやるという条件。英語はラクラク、ドイツ語は文法から必死に勉強。その甲斐あり、語学の単位は習得。後期から2・3年次にかけて、期末試験は自転車です試験会場を奔走。3年次には卒業単位修得。

貧乏学生の私は卒業することと学費稼ぎのアルバイト（家庭教師3件）に追われる。呑気に遊んでいる余裕は無かった。休日に同宿の学生と談笑するか、伴奏つきのボロ自転車でサイクリングを楽しむ程度であった。

友人の中で印象に残るのは、同期の井上邦明君。卒業後は商工中金の役員となり、続いて関連研究所の社長にもなった。私にとっては、当時からよきライバルとも思ってきた。その彼も今は趣味を楽しみ、悠々自適と聞いている。つぎに1年後輩になるが年齢は同じの石井義明君。彼は京都大学の法学部に3

年次に編入、福岡の高裁判事で退官、佐賀の公証人役場で公証人をしてい



るときに再会した。その他すばらしい友人に恵まれた。その数は枚挙にいとまがない。

卒業後は家庭の事情もあり、地元の金融機関に勤め、続いてその関連会社を含め、約42年間、禄を食む。その後、推薦する人があり、佐賀の裁判所の民事調停委員を6年、続いて司法委員を5年勤める。民事の紛争解決にほんの少し関わりを持った。これまでとは違った本当に貴重な経験をさせてもらった。生かじりの法律の知識もまったく無駄ではなかった。

また現役時代の45歳のとき、楠葉同窓会、その後の佐賀大学同窓会の会長として尽力された久間善郎氏から誘込まれて楠葉同窓会・その4年後は佐賀大学同窓会の役員となる。そして佐賀大学同窓会と佐賀医科大学・医学部同窓会が統合となり、その事務局局長という立場で規定の整備をするなど一応、事務局体制も整えた。また昨年で第9回を数えた同窓会提供の「キャリアデザイン講座」の開設や大学が企画した現行の校友会への同窓会の支援などに久間会長らと関わってきたことが、懐かしく思われる。そして多くの会員とも触れ合うことができた。この30年に亘る、楠葉同窓会・全学同窓会の役員という、ありがたい名前も4年前に返上した。会員各位には大変世話になった。

この間、大学から同窓会を経由して学生の就職相談（週3日午後）のアドバイザーを依頼され、後輩のためと引き受けた。今年で13年目となる。学生の就活も今（4月）が佳境、自分の終活もそろそろ考える時期ではないかと思う。ともあれアンチエイジングの特効薬となり、これが若さの源。とはいいいながら、診察券は増えている。なお残余の時間は温泉、図書館通い、その他地域の世話をしている。

母校への熱い思いから、同窓会の活動、後輩諸君の就職相談に関わってきた。紙面を通して多くの学友の健勝と楠葉同窓会の更なる発展を祈念して筆をおく。

国鉄「新生活運動」バイトの思い出

－ロマンに満ちた「不知火寮」－

前諫早支部長 白井 寛 (S30・法律)

昭和30年の佐賀大学では授業も然(さ)りながら、旧制佐高「不知火寮」の生活は楽しく、愉快なものでした。寮には旧制佐高を匂わせる8年生も少しいて、幅を利かせていたし、4畳半の2人部屋には、タバコの匂いや万年床で、窮屈ではあったが2階建ての木造の寮は、あっけらかんとした、屈託の無い人物ばかり。廊下やトイレには、「あわれダンテの奇才無く…」などの青春歌や政治批判、そしてまた失恋の告白文などの落書きがあちこちに点在して、寮生はみな、男世界のロマンを満喫していました。

教室では哲学や倫理学、ドイツ語などユニークな教授たちに恵まれました。

また、苦学生だった我々はよくアルバイトもしました。その頃の定番は「家庭教師」。今の様に町の中に塾があるわけではなく、家庭を訪ねて、夕食つきで当時の中学生や小学生に、週1回宿題の手助け、英語などを教え、父母に喜ばれていました。現在の学生のように、アルバイトに追われる生活ではなかったし、特に理工系の学生には、勉学の妨げになるとしてバイト禁止令。バイトに現(うつ)を抜かず風潮ではありませんでした。

戦後も10年を超え、世の中が物心共に落ち着いて来た3年生の夏休み、故郷には帰らず、がらんとした寮で本を読んでいた時、当時の国鉄から大学の厚生課に求人が舞い込んで来たのです。曰く「国鉄の新生活運動のアルバイト学生を求む」。期間は、毎日8時間で1週間程度。佐賀駅を中心に普通列車に乗り込んで、武雄-鳥栖間を1日2-3回往復するという内容のものでした。早速友人の今は亡き鬼木稔君(31年法律入学)と2人、応募して採用され、角帽に制服そして腕には「新生活運動」の腕章を巻いてのスタイルで列車に乗り込みました。

当時は、市民の生活に民主的な新風を吹き込む、というのが社会風潮であり、社会の色々な場面で「新生活運動」が展開されていたので、国鉄もそれに準じたのでしょう。

我々の役目は、乗客に車内でのエチケットやマナーをお願いするもの。車内を巡回して、ごみを拾ったり、床を掃いたり、トイレの掃除もするし、また



左が鬼木 稔氏 右 白井 寛

車内放送でお客様に環境美化への協力をおねがいはする、といった仕事でした。角帽を被った無粋で、愛想も無い男が2人、率先垂範という形で、環境美化活動に参加する姿は異色であり、大学生が未だ少なかった当時としては、新聞にも報じられたりして、世間の話題をさらったものでした。

バイトの帰りには、あまり悩みも無く、恋の味も知らない2人はきまって意気投合し、佐賀神社裏手の安い、学生相手の盛り場に直行し、それこそ夜の更けるのも忘れて、高歌放吟、バンカラを遺憾なく発揮して心ゆくまでどぶろくを楽しんだものでした。

結局、バイト代は、本を2-3冊買った位で、全部飲み代に消えてしまいました。

貧しいながらも我々は、社会の荒波も、穢れた世情にも疎く、風光明媚で人情味豊か、明治維新では多くの人材を輩出した佐賀での、ロマンに満ちた4年間は、二度と無い人生の中で、本当に充実して颯爽としたもの。今でもよく夢の中に蘇ってくるのが不思議です。

- ・昭和34年文理学部法科卒 佐世保重工、ソニーを経て定年後は長崎総合科学大学
- ・現在はSSKOB 会会長、佐世保空襲遺族会会長
- ・著書「長崎県謎解き散歩(共著)」、「おっかなびっくり欧州ひとり旅」、「家康が作った日本民族「和の心」」
- ・同窓会 長崎県 諫早支部 顧問、佐世保市 むつごろう会 副会長

喜寿を迎えたサッカーマン

前楠葉同窓会副会長 光岡 正登 (S30・経済)

『なんよう』100号おめでとう。私もサッカーを始めて55年になりました。怖い先輩から佐大サッカー部に強制入部させられ、爾来半世紀サッカーと持ちつ持たれつの半生、今も銀行シニアチームに、喜寿を迎えた現役メンバーとして登録しております。

ナベ底景気、保守の岸総理、安保反対の全学連 etc、騒然とした昭和30年に入部、10日後にはイン・カレにレギュラー出場、強豪防衛大学を倒し、これでどっぷりサッカーの虜になりました。時には講義をサボって練習もしました。伝統の熊大、鹿大との九州三大学リーグ戦の一角を担ってきました。

34年には卒業、ところが人生大転機の就活は超厳しい。2～3社アウトの末、辛うじて地元の銀行に受験のチャンス到来。ラッキーにもこの銀行に日頃練習や試合で、よくボールを蹴りあった年配プレイヤーがおられた。後刻判ったが、このシニア選手が当銀行の重役さんだった事もあり、苦手な面接試験はサッカー談義に終始、結果オーライ、難関をサッカーの取持つ縁で就活成功となりました。

入行3年目には職場先輩有志と銀行サッカー部を創設、退任時まで現役の部員として活動を続けました。



平成16年 8月
本丸歴史館外御書院
ボランティア (作務衣が制服)
現在も週一回佐賀城本丸
ボランティア解説員として登城中

なお、創部間もなくの頃、佐大サッカー部時の恩師監督から出雲の神よ御告文^{おつげ}じゃと言って生涯伴侶を宛てがわれ、昨年は金婚式を迎えました。これこそ私とサッカーとの最大の絆だったのかも知れません。



最近の佐賀銀行シニアチーム
前列左より2人目が私です



佐大サッカー部の監督であり、仲人をしてもらった梶山先生とともにサッカー部OBと現役の総会懇親会の時のヒトコマです



佐大34年卒業 佐賀近在の有志
呼子から小川島にオサカナを食べに行きました



母校への想いを形に

沖縄支部長 平良 克次 (S42・経済)

佐賀大学オリジナルブランドの日本酒「悠々知酔」を飲む時、母校や懐かしい青春の日々を思い出します。大学付属農場でとれた原料米と研究室で生成した清酒酵母から生まれた話題性や品質の良さもあり、順調な売れ行きようです。

これは、①佐賀大学のPR ②地域清酒業界の活性化 ③学生達に発酵・醸造の過程を経験させる教育効果を狙った 正に一石三鳥の素晴らしい取り組みと思います。

一方、食に関する世界的な優れた取り組みとして、「table for two」があります。これは、アフリカ諸国などの飢餓・貧困問題を解決すると同時に先進国のメタボリック対策などの健康増進にも役立つ一石

二鳥の取り組みで、具体的には、社員食堂や学生食堂などで20円上乗せした金額でヘルシーメニューを摂る事で、その20円が現地の子供たちの給食に充てられる運動です。

「支援したい想いを手軽に伝えるすばらしい仕組み」だと思います。

「悠々知酔」の新たな付加価値として、大勢の同窓生が例えばワンコイン500円程上乗せした価格で毎年定期的に購入し、その上乗せ分を母校が有意義に活用する仕組みができないかと考えてみました。目標として500円×5000本(一人2本)=250万円。参加者を増やしながら毎年続ける事で、母校への想いが大きく形になります。





100号までの金字塔を振り返って

長 安六 (S40・経済)

35年余の年月を要して綴られた分厚い会報の綴りを手にしてみても、楠葉同窓会の結成当初から活動に関わっていたものの一人として非常に感慨深いものがある。そこにはその時々の同窓会の活動とともに同窓会や母校の佐賀大学に対する色々な方々の思いが綴られており、一つ一つの記事に色々な思い出が浮かんでくるが、紙面の制約上、ここでは会報の発行の経緯に絞って当時の記憶を辿ってみたい。

第1号('79.4)と2号('79.5)は、佐賀大学文理学部同窓会から『佐賀大学同窓会会報』として発行されている。編集責任者は江頭邦道氏と私(旧姓奥松)の二人である。旧文理学部の卒業生で組織する同窓会が『佐賀大学同窓会会報』を発行したわけだが、これには事由がある。佐賀大学が79年で創立30周年を迎えていたため、これを記念して同窓会主催の記念式典と懇親会を文理学部同窓会が他学部の卒業生に呼びかけて開催し、それを機に、旧文理学部の改組により発足した経済学部と理工学部の卒業生に呼びかけて旧文理系の同窓会「佐賀大学楠葉同窓会」を結成するという動きがあった。『佐賀大学同窓会会報』とは、佐賀大学創立30周年記念事業を佐賀大学の同窓生で行うための会報だった訳である。

かくして、5月27日に旧文理系の同窓生を中心に全学の同窓生と大学関係者、300人余の参加により「30周年記念式典と祝賀会」が開催されるとともに、これに先立って旧文理と経済、理工の3学部の同窓生による「楠葉同窓会」の設立総会が開催された。(因みに文理学部同窓会主導で開催した30周年記念同窓会は、35周年を84年12月に教育学部同窓会担当で開催、その後も5年毎に各学部同窓会持ち回りで開催されることとなった。)

従って、名実ともに佐賀大学楠葉同窓会の会報として発行されたのは3号('79.10)の『佐賀大学楠葉会会報』からである。本来は第1号とすべきとこ

ろを何故3号としたのか、当時の記憶はさだかではないが、思うに30周年記念同窓会を企画した文理学部同窓会の主力メンバーがそっくり楠葉同窓会の初代の役員に就任したことから何の違和感もなかったように思う。ともあれ、初代の編集長、佐伯興一氏による『楠葉会会報』第3号が発行されることになり、第4号('80.3)と続いたが、80年度と81年度の発行はなく、3年近くのブランクを経て第5号('83.1)が発行された。実は当時、同窓会では全学同窓会の組織化に取り組んでおり、80年の4月の発足に向けた取り組みとその後の体制づくりに全エネルギーを費やしていた。『楠葉会会報』は発行がストップしていたが、新たに佐賀大学同窓会の会報として『楠の葉』が作られ、このブランクの間に第5号('82.12)まで発行している。

3年近くのブランクを経て復刊された『楠葉会会報』第5号には、編集方針が立てられ、毎四半期の発行を目途に、会員からの原稿、各地の出来事、提言等、職場紹介、大学の動き、対談、事務局だより等が掲載されることになった。第7号('83.9)から編集長が久間善朗氏に受け継がれて14号('85.6)まで続いた。

現在の『なんよう』という表題での発行は15号('85.10)からで、役員交代で山崎武氏をキャプとする新編集体制が発足したことによる。題字は初代会長の久原直行氏の筆によるもので、この題字が70号('99.6)まで表紙を飾った。この間、編集長は山崎氏から野田政男、高木征夫、稗田重徳、梅崎正道の各氏に受け継がれている。

71号('99.10)からは題字がグラフィック文字に変わった。これは理工学部同窓会が分離独立し、旧文理と経済の二学部の卒業生で組織される同窓会として楠葉同窓会が新たなスタートを切ったことに伴うもので、会報の紙面が一新され、同窓生の近況等を知らせる「まど」等の新企画が始まった。この間、

編集長は梅崎氏から徳永進（No. 85～90）、宮原義幸の各氏へと受け継がれ、91号（'09.11）まで続いた。因みに徳永氏は経済卒の初めての編集長であった。92号（'10.4）からは現在の字体になっているが、会誌のサイズがそれまでのB5版からA4版に代わるとともにカラーの紙面になった。編集長は95号から経済卒では2代目の松尾和俊氏に移り現在に至っている。

同窓会活動というと、「懇親会」と「名簿作り」が表看板で、懇親会に至っては同窓会の代名詞みたいな存在であるが、思い出の玉手箱みたいな分厚い会報の綴りを手にしてみると、裏方の地味な活動と思いがちな「会誌の発行」が実は非常に重要な活動だったのだと思い知らされる。歴代の編集長共々、その任に当たってこられた歴代の編集委員の方々の労を労うとともに、百号という金字塔を建てられた

ことに対して心から祝福と御礼を申し上げたい。

紙面の末尾ではあるが、会報に綴られた今一つの金字塔について述べさせて戴きたい。大谷希幸氏が綴られた「歌は流れる」である。旧制佐高時代から新生佐賀大学へと歌い継がれてきたその時代時代の寮歌や応援歌等の学生歌を中心に、歌に纏わる人々の思いを交えながら大谷さん独特の文体で綴られてきたものである。『なんよう』の第28号（'88.12）から始まって99号（'13.1）で64回を数えた。本人は仕上げには少なくともあと十数回は擁すると思っておられ、晩年は病の床にありながらの執筆であったが、道半ばにして7月28日に故人となられた。この数年、賀状に「本にしましよ。お手伝いします」と書いてきた者として病床を見舞い、強く握り返された手の温もりにを感じながら、託された思いを同窓生の賛同を得て形にしたいと思っている。



なんよう100号特別記念号によせて

鳥栖・三神支部長 鈴木 正美 (S44・経済)

今回、特別記念号に学生時代の思い出についての執筆依頼の手紙をいただきました。

大学卒業から45年が過ぎ65歳の目前に高齢者の仲間入りをした団塊の世代です。

今後社会の中で、どのような役割を担えるかわかりませんが、社会のお荷物と言われない生き方ができるよう願っています。

学生時代の思い出は、4年間佐大ワングル部で自由な時間を謳歌した思い出が一番です。そのことは別の機会にし、今回、せっかくの機会ですのでこの紙面を借りて、現在気になっている事をお伝えしたいと思います。

現在私は、名ばかりの鳥栖・三神支部の支部長ですが、ここ数年総会の開催できず休眠状態となっています。前任の小柳義弘支部長が築いてこられた同窓会支部活動の先進的取り組みとして続けられてきた「なんでん塾」が中断したままなのが気がかりです。

社会人となっても、あらゆる事について勉強しようという主旨で40回以上続けてこられました。小柳先輩は平成18年、63歳という若さで急逝され、大黒柱を無くしてしまいました。その後も田中幸男先生、力丸勝海先生たちの尽力を得ながら、何とか伝統ある「なんでん塾」を続けてきましたが、田中先生、力丸先生が他界され、塾の再開ができず大変申し訳なく思っています。

この紙面を借り支部再開の出発点としたいと考え、後輩の方々に引継ぎができるまで、再開にむけ努力していきますので、どうか支部会員さらには、今回このような機会をもうけていただいた本部の皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。



1971年7月 北アルプス槍ヶ岳山頂【右端鈴木】



1971年7月 信州大学思誠寮記念碑前【下段右端鈴木】



1973年2月 ワングル部追い出しコンパ【前列左2人目鈴木】

ブラックリスト第1号は誰だ

元楠葉同窓会理事 徳永 進 (S45・経済)

「なんよう」100号おめでとうございます。私も「なんよう」編集に携わったことを思い出します。きっかけは長先生からのお誘い「機関誌の編集を手伝ってくれんね」と声がかかり、当時就職先で機関誌の編集をしていたこともあり、簡単に「よかですよ」と。ところが翌年の総会で「理事」の肩書を頂戴し、「そんなつもりではなかったのに」とびっくりしました。それから20年近くやったかと思えます。

発行は年2回でしたが、編集の時期になると編集担当3～4名で企画に四苦八苦していました。幸いなことに、企画にもとづいて会員みなさんに執筆依頼をしますと、快く引き受けていただきました。

ところが、紙面の割り付けをしていたら、スペースが余ってしまうことがありました。その時は最後の手段、編集担当者で私生活を題材として恥をさらしたものでした。といっても、そこは脚色し格好をつけておりました。時効につきお許しください。

「なんよう」とあわせて全学同窓会の機関誌「楠の葉」の編集委員を兼務ということでしたので、企画内容のすみ分けに苦労したことを思い出します。

会員みなさん、編集担当者から執筆依頼がありましたら快く引き受けてください。それともブラックリスト第1号をねらいますか。



仲間との温泉旅行で。右端が徳永。

なんよう100号特別記念号によせて

福岡銀行支部長 井田 敏郎 (S46・経済)

「なんよう」100号発行、誠におめでとうございます。社会人となって地元佐賀を離れ、早いもので入学時の年齢の2倍近くの39年の歳月が流れました。入学当時の私の目には、正門横の文理学部の生協・学食・自治会棟の他、格調高い木造の校舎やメインストリートのポプラ並木、モダンな大講堂等が強烈に映りました。図書館では莫大な蔵書を前に、「大学生になったんだな」との実感が湧き上がってきました。高校の先輩に誘われて管弦楽団にホルン奏者



昭和50年1月頃 大講堂前にて中原ゼミのメンバー
中央 中原先生 右から2人目 私



昭和49年7月頃
中原ゼミ九重合宿、
登山途中 右端 私

大学生生活の充実感を味わったものです。

福岡銀行に就職し、日田・湊町・唐津の3支店長を拝命しましたが、いずれの地でも佐賀大学の先輩・後輩の絆の強さや有難さを実感しました。現在監査部に勤務しながら、吹奏楽団有志で結成したビッグバンドを率いて老健施設や病院でのボランティア演奏を続けています。笑顔で楽しい一時を過ごされている姿を見るたびに、音楽の力と素晴らしさを感じます。「我青春に悔いなし」と一人自負している今日此頃です。

昭和49年12月
佐賀大学管弦楽団
定期演奏会
市民会館 右端 私



として入団しましたが、当時は音楽科の学生さんが弦楽器主体で管・打楽器は学内の有志が担当しており、サークル化に向けて走り出した頃でもありました。音楽棟での夜間練習や田主丸での合宿等、青春の楽しい一頁として残っています。勉学の思い出として、中原弘二先生の「経済政策ゼミ」では3・4年生の合同参画で、川上の青年の家や九重研修所での合宿、玄界原発の見学など学外にも目を向けた活発な活動を行いました。九重登山では咲き誇るミヤマキリシマに感動し、友情や



平成22年10月 ミュージックシティ天神(本店広場)ビッグバンドの指揮



学生時代の思い出

平成4年度実行委員長 於保 直隆 (S42・経済)

私は昭和22年生まれの所謂団塊の世代です。最近では私たちの世代が高齢者の世代に差し掛かり、良しに付け、悪しきに付け団塊の世代の功罪が話題になっています。

何しろ数が多い世代ですので、今後は若い方々にすみません、すみませんと言いながら余生を送らせて頂くことになります。

さて私達が佐賀大学に入学した頃はまさに学生運動の真っただ中でありまして、苦しい受験戦争を戦い抜きやっと入学して安心しておりましたら、すぐストだ授業ボイコットだという環境に放り込まれ、何にもわからない高校生そのままの私は何が何だか、どうすれば良いのか途方に暮れた1年生でした。

キャンパスは激しい言葉が並べられた壁新聞ばかりで時々警察の機動隊が入ってきました。そう言う訳で1年生の時は余り勉強も出来ず(せず)部活の柔道に打ち込んだものです。何とか4年間を過ごし、

地元の銀行に就職しましたが、はや定年となり、今は福祉関係の職場に再就職し、余生を楽しんでおります。同窓生とのお付き合いは部活が中心になりますが地元に住む関係で平成4年の楠葉同窓会では実行委員長を仰せつかり、久し振りに学部外の同窓生とも昔を懐かしんだものです。美術館も完成し立派になった母校を誇らしく思い、また時代の流れを懐かしんでおります。





走馬灯のように思い出される学生時代

東海支部長 秋吉 英治 (S44・経済)

昭和44年、今年の宝塚音楽学校入試と同じ26倍をクリアして経済学科へ入学。

大分の実家を初めて離れ、佐賀に来て溢れる緑の田園とクリークに何故かホッとしました。

入学から卒業まで4年間、ワンダーフォーゲル部が本籍、部活動で鍛えられ今も役立つ。飲酒とコンパで培った強い人間関係、博多でのOB有志忘年会には今年も参加します。



ワンゲル 久住山 大学2～3年生頃
左端が秋吉



ワンゲル 1年生時代 昭和44年4月
着席が秋吉 (新人勧誘受付中)

毎月後半は仕送りもバイト収入も飲み代に消え、1週間はインスタントラーメンで食いつなぎ残る日々はワンゲル部員や学友を頼り、飢えをしのいだ金欠生活も忘れられません。

和仁先生の「経済原論」単位取得に苦勞、経済なのに労働法ゼミ、何れも故人のやんちゃな石橋先生と生真面目な江頭先生にご指導戴き、会社生活で重宝しています。

多感な時代、社会正義実現のためと右に左に思想遍歴、昼間に道路上で行進した。県警機動隊員と夜は飲み屋で鉢合わせ、議論平行線も懐かしく思い出されます。若い事務職員から「君は女難の相がある…」と言われ太宰治、石川啄木から坂口安吾まで没入。松原飲み屋街で酩酊し、学割で成人向け劇場入場、稀に和服姿の麗人から「学生さん？」と和傘を差し掛けられた夢幻のような実話、手元に残る山本常朝「葉隠」本は家賃半月分を費やしお堀端の知的な女性店番の古本屋で購入した一品、などなど。

佐賀大学で学び、生活した日々は、現在に至る私の人生を決めた有意義なひと時でした。



ワンゲル 追い出しコンパ
前列右から3番目が秋吉
右から5番目は独語、松田先生



社会を支える人材の育成を

平成10年度実行委員長 西村 芳昭 (S48・経済)

会報「なんよう」第100号の発刊。おめでとうございます。

卒業して、はや37年。私も来年は定年退職となり、人生の節目を迎えようとしています。

先日、仕事の関係で本庄キャンパスを訪ね、学内を散策する機会がありましたが、メインストリートの樹木がとても大きくなっており、学生時代の2倍に伸びたのでは?…と、時の流れ、樹木の生命力に改めて感じ入ったところです。

佐賀大学には、この新緑の木々のように、年々、組織体制や教育内容が拡充され、着実に発展を遂げておられるとの印象があります。

私の在学当時、佐賀大学は「不知火寮」に象徴さ

れるように、バンカラで質実剛健な校風だったように思います。

思い出すのは何といても「ゼミの合宿」です。神集島の研修所で、元気いっぱい笑顔あふれる石橋主税先生を囲み、飲み、歌いそして学んだことが昨日のようです。楽しく充実した時期でした。

時代の変化とともに、社会で求められる人材も変わっていくと思いますが、豊かな自然に恵まれ、落ち着いた雰囲気の中でじっくりと学べるのが佐賀大学の魅力だと思います。

佐賀大学には、今後とも、社会を支える人材をしっかりと育てていただきたいと願っております。



「楠の葉の」を熱唱する実行委員



CS（顧客満足度）について

佐賀共栄銀行支部長 池田 一成（S55・経済）

私は、昭和59年3月に佐賀大学経済学部を卒業し、4月に地元の銀行に就職し今年で勤務31年目を迎えています。民間企業（サービス業）は、CS（顧客満足度）がキーワードとして使われ金融機関においても顧客に対して質の高いレベルサービスを提供しなければなりません。顧客もまたそれを求めています。

ここで、私が平成16年に佐世保支店の支店長として勤務していた時のあるお客様（主婦）の話を紹介します。そのお客様は自動車の免許をお持ちでないため、月に一回程度バスを利用して当店に来店されます。当店のすぐ近くにある佐世保玉屋で買い物してから来店されることが多く、一度に沢山の買い物をされた時は荷物を銀行に預けられることがあります。その時渉外行員がバイクで15分ほどの自宅まで荷物を届けていました。

一見、過剰サービスととられる話であるが理由を聞くと、きっかけは以前に沢山の荷物を持たれていたため、窓口の女性行員が親切心から「自宅に届けましょうか」と言ったことから始まったということです。もちろん、「窓口の対応マニュアル」にはそのようなことは記載されていません。そのお客様は

大変喜ばれ、それ以来ご主人（公務員）の退職金や年金の受取りなど当店でメインの取引が続いているとのことでした。

人間にはもともと「承認欲求」つまり「大切にしてほしい」という欲求があります。これは、個別対応を求めます。言い換えれば「わがまま」を聞いてほしいということです。CSとは究極「お客様のわがままに応える」ことだと思いました。

佐世保市は親和の町といわれ、親和銀行が圧倒的なシェアを占めていました。そのような中で当行が生き残っていくためには「お客様が第一」というスタンスを支店長である私自身が肝に銘じ率先して行動することが大切であると考え、行員と一緒に多くの取引先を帯同訪問し出来るだけ個別対応を心がけました。

結果として、お客様と親密となり取引拡大や新規先の獲得につながり一定の営業成果を上げることができ、当時の支店の行員には感謝しています。

佐世保支店での勤務は、自分を銀行員として成長させてくれた1年9ヶ月であったと思います。



実行委員長の池田氏と司会役の
中央 花島さん、右 杜さん

今の私、あの頃の私

やればできる

高崎 康史 (S48・経済)

運動嫌いだった学生時代は、歩くのはせいぜい下宿から5分の佐大の学食まで。その先の経済学部の教室は遠いから行かない、というグウタラでした。

それから幾星霜、中高年お決まりの脂肪肝になりました。原因は大量の飲酒と運動不足。酒を止めるなどトンデモナイ話なので(酒は飲むべし百薬の長)、しぶしぶジョギングを開始。ところが、ジョギングは予想に反して楽しく、直に肝臓脂肪は消滅。しかも走った後の風呂上がりのビールの旨いこと！

さらに十年余を経て還暦を迎えた昨秋には、東京・荒川のハーフマラソン大会に参加して、好記録で完走。「やればできる」を理解するのに、些か年月をかけ過ぎたようです。



20km 地点を激走する還暦男

現在、上海で暮らしています！

木下 圭 (H6・管理)

佐賀空港が開港した1998年に大学を卒業し、佐賀－上海線が就航した2012年に上海空港勤務となるなど、佐賀を離れたあとも、佐賀空港の成長とともに航空業界で働いています。

現在、上海には約5万人の日本人が居留しており、出張者を含めると10万人にも上るといわれています。非常に活気に満ち溢れた国際都市であり、2012年の尖閣諸島問題時には少し緊張感がありましたが、現在では日中関係が気になることもありません。ぜひ皆さん身近な国際都市へいらしてください。



今の私、あの頃の私

柿森 英典 (H5・経営)

当時は、勉強よりもアルバイトに明け暮れた日々でした。そんな中で、「学生時代に学び、経験したことを社会人としてどう生かすか」。仲間と夜通しそんな話をしながら、将来の進むべき道筋を模索していたように思います。

現在、私は長崎県五島市で西日本新聞社の記者をしています。「考えたものを表現できる媒体で働きたい」という、学生時代に抱いた思いを実現することはできました。入社当初は、思い描いていたものとは違う体力勝負の稼業に面食らいましたが、何とか仕事を続けられています。それは大学時代の仲間や先輩からの「記事を見たよ」という連絡が、仕事へのモ



卒業式の日佐賀市文化会館で友人たちと

チベーションを自然と高めているからだと感じています。

あの頃の私について思うこと

吉竹 美岐 (H4・経済)

卒業後およそ20年経った今だから言えることですが、学生時分の私は表向きはどうあれとても消極的で悲観的だったと思うのです。何に対してもまず初めに浮ぶのは「失敗しない為にはどうするか」ということでした。失敗を嫌うあまり新しいものに出会うこと、関わることを極力避ける、そんな節があったように思います。

ですが社会へ出て自分の好みに関わらず様々な経

験を重ねた今、あの時失敗を怖れず挑戦していれば得られたものはもっとあったのではないか—と思うのです。

学生でいられる時期は長いようで短い。もしあの頃の自分に会えるなら遠慮せずためらわず向かっていく勇気を持つように伝えたい。始めから締めない限り道は続いていくのですから。



佐賀大学楠葉同窓会誌 「なんよう」の歴史

— 1～99号を振り返って —



トピックス 三十周年記念同窓会のための経過

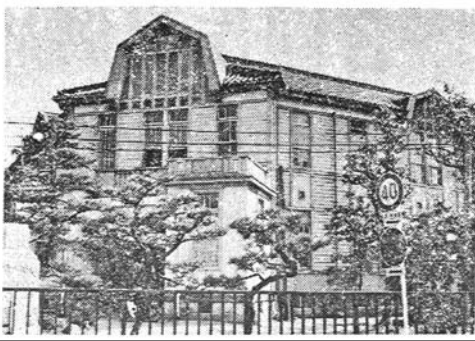
【目次紹介】

- ・卒業生の皆様へ…経済学部教授 和仁孝三
- ・佐大文理学部同窓会の将来…同窓会会長 久原直行
- ・今はなき旧管理棟
- ・和仁教授のさよなら講義(2月8日付け佐賀新聞より)
- ・「同窓会組織の確立を」…関本 優
- ・〈三十周年記念同窓会のための経過〉…江頭邦道

【トピックス内容紹介】

この会報は、佐賀大学開学三十周年記念事業の一環として同窓会発展のために発行されたもので、(昭和54年)5月27日(日)開催予定の全学規模「佐賀大学三十周年記念同窓会」実行委員会等の経過報告及びその後予定の同窓会各支部確立や名簿作成の計画等が報告されています。

今はなき 旧管理棟

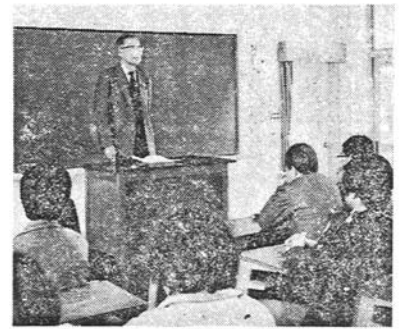


旧制佐高時代(大正10年)からの管理棟が解体されたことを伝えるコラム

「人と経済」淡々と

——佐 大——
和仁教授のさよなら講義

(2月8日付
佐賀新聞より)



後輩教官ら150人がつめかけた和仁教授のさよなら講義

(同年)2月7日の和仁教授最終講義を伝える佐賀新聞の転載

トピックス 「開学三十周年記念同窓会」開催大綱決る

【目次紹介】

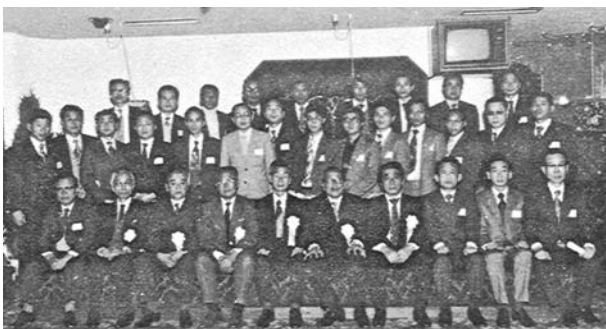
- ・「佐賀大学開学三十周年記念同窓会に向けて」
—全同窓生の結集を—…実行委員会一同
- ・「開学三十周年記念同窓会」開催大綱決る…奥松安六
- ・〈支部だより〉 筑後支部
- ・—三十周年記念同窓会動員体制—…松園家晴
- ・—実行委員会の運営資金について—…奥松安六

【トピックス内容紹介】

この会報は記念同窓会直前のもので以下を伝えています。

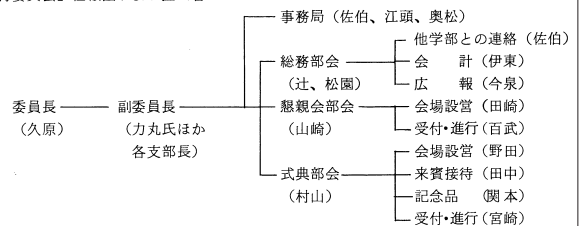
- ① 記念同窓会は、5月27日ホテル・ニューオオタニで行うが、その1時間前に文理、農、教育の各学部同窓会総会を開催できるようにする。
- ② 同窓会の組織強化
- ③ 同窓会会報を原則年4回発行予定 等

このほか、当時、実行委員会に手持ち資金皆無となったため、久原会長以下9名の役員の方から各5万円借用したことが報告されています。



(昭和54年)3月24日開催の筑後支部同窓会

(5) 「実行委員会」組織図および担当者

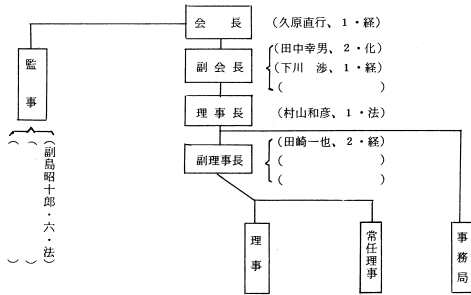


熱気溢れる同窓会実行委員会組織

トピックス 「楠葉会設立さる！」

【トピックス内容紹介】

去る5月27日、「開学30周年記念式典」に先立ち、旧文理、経済及び理工の3学部卒業生が集い、「楠葉同窓会」の設立総会を開催しました。



【目次紹介】

- ・会長挨拶…楠葉会会長 久原 直行
- ・楠葉同窓会の今後の活動方針…理事長 村山和彦
- ・支部だより…佐世保支部
- ・名簿作成…常任理事 百武 英明

「会長挨拶」要約

- ・30周年記念同窓会の盛会裡終了に御礼申し上げたい。
- ・母校発展のためには、先ず同窓会組織強化が第一。農学部は結束固く、教育学部も正確な（同窓会）名簿を持ち、文理経済理工がしっかりしたら全学部佐大同窓会も夢ではない。
- ・特に佐賀県内居住者は母校愛の発露として同窓の絆を固くし、会費の納入に協力して、同窓会基金の礎を築いてもらいたい。
- ・開学35、40、50周年のいずれかで同窓会館を設立したい。

トピックス 御挨拶…学長 山川 寛

【目次紹介】

- ・御挨拶…学長 山川 寛
- ・卒業生諸氏に一言…楠葉会会長 久原直行
- ・支部だより
 - 熊本支部より—
 - 大分県支部発足！—
- ・「佐賀大学同窓会」設立！…江頭邦道

【トピックス内容紹介】

- ・山川 寛学長は初めて学内から誕生した母校の学長として、「御挨拶」において同窓会発展への励ましの言葉をいただいた。
- ・「卒業生諸氏に一言…楠葉会会長 久原直行」においては、この度の卒業生に対し、社会人に大切なものは人間関係として同窓生の大切さを説かれ、同窓会入会歓迎の挨拶とされた。
- ・「支部だより」においては、大分県支部の設立総会が（昭和55年）2月2日、別府杉乃井ホテルで行われ、原野卓規氏を支部長としたことが報告された。
- ・「佐賀大学同窓会設立」においては、来る4月1日から各学部同窓会の連合会として発足し、当面の事業は会報発行及び支部組織強化とすることが報告された。



学長 山川 寛

「御挨拶」に添えられた学長近影



熊本支部近況写真

トピックス 御挨拶…理事長 関本 優

【目次紹介】

- ・御挨拶…理事長 関本 優
(以下、執行部より報告)
- ・大学の近況
- ・福岡、三支部の結成に向けて
- ・1983年版「同窓会名簿」の発刊について
- ・楠葉同窓会会報の編集方針について



正門横に建設されたサークル会館

「大学の近況」より

【トピックス内容紹介】

・「御挨拶」において関本理事長は、同窓会の事務処理能力の向上と「和」を中心とした運営の抱負を述べられました。

(執行部からの現況報告として)

- ① 「大学の近況」
 - ・正門右手にサークル会館が新設され、それに伴い「文理1番」教室が撤去された。
 - ・(昭和56年)12月に不知火寮が撤去され、同窓会主催の「不知火寮を偲ぶ会」が催された。
 - ・蓮根掘跡地に大学本部事務局等が建設。
 - ・大学の南部バイパス向い側に楠葉寮(男女150名)建設
- ② 「福岡、三支部の結成に向けて」
 - ・福岡支部は57年末に2回の会合を持ち、現支部を福岡県庁、福岡市役所、その他の3つに分割決定。
- ③ 「83年版「同窓会名簿」発刊」
 - ・5年毎発行を3年毎に変更し、3月末に発刊予定。
- ④ 楠葉同窓会会報の今年度からの復刊報告

トピックス 文学部・法学部設置に関する要望

【目次紹介】

- ・文学部・法学部設置に関する要望
…楠葉同窓会会長 久原直行
- ・就職説明会に180人の学生参加…(執行部)
- ・「佐賀新聞」佐賀大学を連載で紹介…(執行部)
- ・1983年版「同窓会名簿」好評発売中
- ・昭和58年度楠葉同窓会(文理・経済・理工)総会・パーティ開催—(本年7月24日開催予告)



就職説明会に集まった学生達

【トピックス内容紹介】

・「文学部・法学部設置に関する要望」は、昭和57年7月25日第4回楠葉同窓会総会の決議に基づき、調和のとれた総合大学化を求めてなされた。

・「就職説明会」は、卒業生が就職した20数企業が学内に集まり、在校生のために求められる社員像、面接の際の留意事項等の説明及び企業紹介を行ったもの。昨年からはじめられ、今年は経済・理工等の学生約180人が集まった。

・「佐賀新聞連載」とは、受験生の地元離れが進んでいるため、同窓会において本学の紹介を佐賀新聞紙面を借りて行うこととしたもの。

・「同窓会名簿」発刊は、この度の30周年記念事業の一環である。

トピックス 役員改選 会長に久原氏を再選

【目次紹介】

- ・昭和58年度楠葉同窓会総会（7/24日）
事業計画、予算など決まる
役員改選 会長に久原氏を再選
副会長に田中・田崎両氏
- ・理事会（7/24日）
理事長に関本氏を選ぶ
- ・ぶろふいーる 篠崎万佐恵さん（S57. 5～）紹介



熱心に審議する会員＝ホテルニューオータニ佐賀で

同窓会における役員人事

- 会長 久原 直行
- 副会長 田中 幸男
- 〃 田崎 一也
- 理事長 関本 優
- 副理事長 山崎 武
- 〃 武富 義尚
- 常任理事 光岡 正登、中居 靖夫
久間 善郎、稗田 重徳
百武 英明、奥松 安六
江頭 覚、椿 忠彦

※常任理事でない理事については紙面都合で割愛。

監 事 副島昭十郎、伊東 義文、宮地 裕之

事務局長 江頭 邦道

トピックス (不知火) 寮跡にブロンズ像



寮跡にブロンズ像

【トピックス内容紹介】

この会報 No 5 には、S 56. 12月に不知火寮が撤去されたことが報じられています。

この跡地に、菊葉同窓会（旧制佐高同窓会）によりブロンズ記念像が「遙かなり十五畷」と題して建立され、昭和58年7月24日、前文部大臣小川平二氏（昭和7年文乙卒業）ら150名が参加して除幕式が行われました。

【目次紹介】

- ・事務局にワープロ導入
会員の動向を的確に把握
同窓会活動活性化の一助に
- ・佐賀大学の姿を PR
—佐賀新聞に15回連載
- ・山川学長に佐賀新聞文化賞
米つくり新佐賀段階に寄与
- (支部同窓会)
- ・東京支部100名が出席して総会
- ・熊本支部50余名が懐旧談に花
- ・東海支部連帯と強化目指す
- ・(不知火) 寮跡にブロンズ像
「遙かなり十五畷」

トピックス 本年の就職戦線 ほぼ90%が内定

【目次紹介】

- ・ 本年の就職戦線
ほぼ90%が内定
- ・ 学長に山川氏再任
- ・ 理工学部長 高田氏を再選
- (学内の動き)
- ・ 研究新棟 2つ
建築工学棟～理工学部
経営学科棟～経済学部
- (支部だより)
- ・ 佐世保支部 5年ぶりにむつごろう会
- ・ 佐賀市役所支部和やかに懇親会

【トピックス内容紹介】

- ・ 「本年の就職戦線 ほぼ90%が内定」
当会報100号の最近まで言われていた「就職氷河期」に比べて、当時はまだ余裕があったようです。
- ・ 「学長に山川氏再任」
山川新学長については、昭和55年3月の会報No4に報告でしたが、会報No9は同学長2期目の報告です。



(山川学長)

トピックス 両学部と（楠葉会と）の懇談会

【目次紹介】

- ・ 両学部と（楠葉会と）の懇談会
PR・就職懇両事業に高い評価
- ・ 伸びざかりの佐賀大学 同窓諸兄姉へのお願い
…理事長関本 優
- ・ 開学35周年記念同窓会 教育学部同窓会で準備進む
- ・ 就職懇談会 7月7日に開催
- (支部だより)
- ・ 少数精鋭主義—沖縄支部
- ・ 60名参加の懇親会—筑後支部
- ・ 支部長を再選—佐賀支部

【トピックス内容紹介】

- ・ 「両学部との懇談会」
これは楠葉会と経済及び理工学部との間で4月28日行われた懇談会の報告です。
これにおいて、①昨年6月～10月佐賀新聞で実施した佐賀大学PR事業は反響があった、②47年から実施した就職懇談会は、同窓生による説明もあって非常に有意義、ということで両事業とも学部側から継続を望まれたとのことです。
- ・ 「伸びざかりの佐賀大学 同窓諸兄姉へのお願い」
これは、同窓会の立場から、本学は現在伸長期にあり、については同窓生の子弟、更に教職にある同窓生はその教え子を是非佐賀大学へ送ってほしいとの要望です。
- ・ 「開学35周年記念同窓会」
この記念事業について、今度は教育学部同窓会が当番となつての実施を伝えるものです。



(写真は当日参加した会員たち)

5月19日筑後支部懇談会

トピックス

佐賀大学同窓会役員会 記念同窓会など検討

【目次紹介】

- ・昭和59年度楠葉同窓会総会
事業計画、予算など承認
- ・佐賀大学同窓会役員会
記念同窓会など検討
- ・就職懇談会
約100人の学生が参加
(支部だより)
- ・佐賀市役所支部
会員数、3ケタの大台へ
- ・関西支部 (右に写真)
浪速の“ムツゴロウ”が集う
- ・佐賀支部 (右に写真)
会活動の充実化を検討

【トピックス内容紹介】

- ・「佐賀大学同窓会役員会」
開学35周年記念同窓会について検討し、12月2日記念式典と懇親会開催を正式決定



関西支部例会



佐賀支部総会懇親会

トピックス

同窓会総会後の懇親会毎年開催の方向

【目次紹介】

- ・(常任理事会)
 - ① 同窓会総会後の懇親会毎年開催の方向
実行委組織を変更へ
 - ② 当面の活動方針協議
法学部設置の要望など
- ・(同窓会による) PR事業
(経済・理工)両学部を(佐賀)新聞で紹介
- ・35周年記念同窓会
(12月2日)学長ら迎え式典

学内の動き

- ・昭和60年度学生募集事項から
総数1015名の学生募集
- ・テクノフェアに出展
(支部だより)
- ・東海支部
一泊二日の懇親会
- ・唐津支部
久しぶりの懇親会

【トピックス内容紹介】

- ・(常任理事会)
 - ① 「懇親会毎年開催」について
これは、58年度総会において懇親会の負担が大きいとして隔年実施が決定されたものの、その結果S59総会が非常に低調だったため、毎年開催を復活するもの。
また、実行委メンバーを、次回はS39卒を中心に29・49・59卒のローテーション方式で探すことを了承。
 - ② 「法学部設置の要望」について
S57年総会決議の「文学部・法学部設置の要望書」のうち、当面法学部設置実現に向けての活動を確認。



(写真は祝辞を述べる山川学長)

トピックス 就職状況 理工・経済とも明るさ

【目次紹介】

- ・就職状況 理工・経済とも明るさ
情報処理関連など中心に
- ・拡大役員会
署名活動など協議
- ・両学部との懇談会
本会活動の現況など

学内の動き

- ・次期経済学部長に長野 暹 教授
- ・佐賀大学を連載中
朝日新聞佐賀版に
(支部だより)
- ・熊本支部 20名が交流深める
- ・大分支部 5年ぶりの総会

【トピックス内容紹介】

- ・「就職状況」
就職好調として両学部合せて300社余りの就職先リストが紹介された。
- ・「拡大役員会」
経済学部に経済法学科設置要望の署名活動を行い、3月末に大学提出を決定。



(会に出席した同窓生)

トピックス 大学会館が落成 多目的ホールなどに期待

【目次紹介】

(広報)

- ① 60年総会は7月27日に、2年ぶりに懇親会も開催
 - ② 役員候補者の受付について
 - ③ 懇親会の開催に当って
…実行委員長小柳義弘
- ・経済法学科設置要望
750名の署名集め、(4月5日大学提出)
 - ・第36回開学記念 長野学部長が講演
 - ・大学会館が落成
多目的ホールなどに期待
(支部だより)
 - ・山口支部 下松市で発会式
 - ・筑後支部 恩師迎え「立花」で総会

【トピックス内容紹介】

- ・(広報)「役員候補者の受付について」
これは、従来、「候補者は当日の総会会場で募っていたものを改め、事前に会報に搭載して募る」に改めたための措置で、初めてとして注目。
「実行委員会」-29, 39, 49, 59卒で担当。
- ・「大学会館が落成」
不知火寮跡地に建設され、5月1日オープン。



大学会館

トピックス 60年度総会・理事会・懇親会を開催

【目次紹介】

- ・60年度総会・理事会・懇親会を開催
- 新役員紹介 会長 久原直行
- 副会長 田中幸男、鶴 正人、松園家晴
- 理事長 関本 優
- 副理事長 山崎 武、高橋 徹、小池政雄
- 常任理事 久間善郎、稗田重徳、百武英明
- 青山祐司、奥松安六、江副 覚
- 清田 勝、椿 忠彦
- ※常任理事でない理事は紙面都合により略。
- 監 事 伊東義文、中居靖夫、宮地裕之
- 事務局長 江頭邦道
- (支部だより)
- ・長崎支部
- 台風13号の中で(総会・懇親会開催)
- ・佐賀支部(支部役員会・世話人会において)
- 支部長に副島昭十郎氏(選出)

【トピックス内容紹介】

楠葉同窓会懇親会が2年ぶりに行われました。
 同実行委員会は、39年卒業生を中心に、29年、49年、59年の卒業生で組織されました。



60年度事業について審議



盛り上った懇親会

トピックス 学長に楠田氏(第六代)

【目次紹介】

- ・学長に楠田氏(第六代)(下に写真)
- ・御挨拶 …理事長 関本 優
- ・研究者を囲んでー(卒業生との)懇話会結成
- ・高津先生一しのぶ会(下に写真)
- (支部だより)
- ・東京支部懇親会

【トピックス内容紹介】

・「学長に楠田氏(第六代)」楠田久男氏は、旧制佐高卒、元理工学部長。2月20日発令予定。

・「御挨拶 …理事長 関本 優」氏は、大学と地域との橋渡し役としての抱負を述べられた。

・「高津先生一しのぶ会」(昨年)11月23日佐賀市内で、先生のご逝去を悼んで開催。



楠田久男新学長



故高津先生



高津英雄教授 略歴
 福岡県立中学修猷館
 第五高等学校(文科2類)
 東京帝国大学(経済学部経済学科)

佐賀大学教授 昭和27年3月1日より
 昭和39年3月31日まで
 西南大学教授 昭和39年4月1日就任
 昭和40年9月14日逝去

トピックス 新理工学部長決まる (武藤米一郎教授選出)

【目次紹介】

- ・就職状況
地方公務員・情報処理関連に人気
 - ・ごくろうさま 山川学長
 - ・新理工学部長決まる (右に写真)
(武藤米一郎教授選出)
 - ・懇話会スタート (2月13日)
(第1回、大森真紀助教授を迎えて)
- 職場訪問—佐賀の支店長
- ・日産ディーゼル福岡販売 (株) 原野卓規氏
 - ・東京海上火災保険 (株) 江崎 寛氏
(支部だより)
 - ・北九州支部総会 (右に写真)
 - ・さが市役所支部新年会
 - ・諫早支部総会 (右に写真)



武藤新理工学部長



北九州支部総会



諫早支部総会

トピックス 第2回懇話会を開催 (5月8日)

【目次紹介】

- (広報)
- ・61年度総会開催—7月26日 (土)
 - ①理事会・総会・懇親会要綱
 - ②懇親会の開催に当って
…実行委員長富崎昭宏
 - ・第2回懇話会を開催 (5月8日) (右に写真)
(上原春夫教授「海洋温度差発電について」)
- 職場訪問—佐賀の支店長
- ・(株) 西日本銀行佐賀支店 篠原文夫氏
 - ・佐賀リコー販売 (株) 江口清戸氏
 - ・就職レポート 61理工卒 伊東武人氏
(支部だより)
 - ・沖縄支部
 - ・長崎支部
 - ・筑後支部 (右に写真)

【トピックス内容紹介】

- ・総会懇親会は30, 40, 50, 60卒が担当。



第2回懇話会



筑後支部会例会

トピックス (報告) 昭和61年度同窓会懇親会

【目次紹介】

- ・ 総会を終わって—大学PR事業について
 - …理事長 関本 優
 - 武藤米一郎学部長による「理工学部案内」紹介
- ・ 初代 西学長の遺品 佐大へ(寄贈)
- ・ (報告) 昭和61年度同窓会懇親会
 - …実行委員長 富崎昭宏
- ・ 昭和62年版同窓会名簿 発行せまる
- ・ 絵ハガキー不知火寮シリーズ
 - (希望者実費配付)
- ・ 職場訪問
 - ① トーホー佐賀支店長 糸山 誠氏
 - ② 麓刑務所長 宮里敬子氏
- ・ 第3回懇話会 9月11日長野暹経済学部長(支部だより)
- ・ 関西支部 楠田学長出席

【トピックス内容紹介】

・ (報告)「昭和61年度同窓会懇親会」について、S40卒を主に、30、50、60卒のメンバーで実行委を組織・運営が報告された。



同窓会懇親会



関西支部例会

トピックス 経済学部創立20周年記念事業

【目次紹介】

- ・ 経済学部創立20周年記念事業 (12月6日(土))
- ・ 20周年を迎えて … 経済学部長 長野 暹
- ・ 上原春夫教授(理工) 佐賀新聞文化賞受賞
- ・ 朝日新聞連載=理工学部=
- ・ 職場訪問
 - ① 九州電力佐賀支店次長 吉田 宏氏
 - ② 住友クレジットサービス佐賀支店長 中村安昭氏
- ・ (広報)「同窓会名簿配付へ」
- ・ 第4回懇話会 11月13日加藤富民雄農学部教授(支部だより)
- ・ 宮崎支部
- ・ 北九州支部
- ・ 沖縄支部

【トピックス内容紹介】

・ 「経済学部創立20周年記念事業」特別講演「世界の中の日本経済」大和証券経済研究所代表 宮崎 勇氏 記念式典及び祝賀会(約100名)



経済学部二十周年記念事業

宮崎勇氏による講演会風景



上原教授受賞祝賀会

トピックス あすの佐賀大学

【目次紹介】

- ・あすの佐賀大学・・・佐賀大学学長楠田久男
- ・(コラム意見)・・・理事長関本 優
- ・がんばる卒業生 (任意に20人アンケート)
 経・石橋憲茂、経・鐘ヶ江泰山、経・西山陽一
 理・小峰隆一、経・内田正和、理・伊藤真一
 経・広松 淳、理・中西信彦、理・原口宗広
 経・保坂直子、理・木塚省臣、理・奥 滋
 理・最所隆樹、理・満生克之、理・田中広之
 理・富山道雄、理・松枝賢治、理・安達正敏
 理・相川直子、理・武藤幸貴
- ・第5回懇話会 教育学部 米倉利明教授
 「佐賀の芸能」
 (支部だより)
- ・佐賀市役所支部
- ・熊本支部

【トピックス内容紹介】

・「あすの佐賀大学」について 楠田学長は大学構想の一つである学術と留学生の国際交流の強力な推進のために財政基盤の確立が必要として、同窓生の支援と協力を求められた。関本理事長も、この学長の姿勢を評価された。



佐賀大学学長
楠田久男



第5回懇話会

トピックス 佐賀大学同窓会役員会開催 (62. 6. 5)

【目次紹介】

- (広報)
- ・62年度総会開催—7月18日(土)
- ① 役員立候補者の受け付けについて
- ② 理事会・総会・懇親会開催要綱
- ③ 懇親会の開催に当って
 …実行委員長百武英明
- ・佐賀大学同窓会役員会開催 (62. 6. 5)
- ・就職懇談会—5月19日—(右下に写真)
 出席者200名を越す
- ・就職状況
 公務員、金融関係に人気集中
 理工学部 経済学部
 大企業へ多数就職
- ・科学技術相談室を開設—理工学部
- ・昭和62年度入学生状況
 留学生 = 全学で43名 =

【トピックス内容紹介】

・「総会懇親会」 31、41、51、61卒で担当

・「佐賀大学同窓会役員会開催」について
 同役員会は2年ぶりに開催され、当番である農学部同窓会が2年間中断の釈明と改めて今後1年間の当番努力を発言し、了承された。

・「科学技術相談室を開設—理工学部」
 理工学部が、地元産業界の技術開発の相談に応じるため解説した。



就職懇談会

トピックス 留学生を招き盛大に懇親会

【目次紹介】

- ・62年度総会 会長に田中氏(829化)を選出
留学生を招き盛大に懇親会 (写真)
- 新役員紹介 会長 田中幸男
副会長 鶴 正人、松園家晴、関本 優
理事長 山崎 武
副理事長 高橋 徹、小池政雄、久間善郎
常任理事 野田政男、稗田重徳、高木征男
百武英明、原 邦彦、青山祐司
江副 覚、椿 忠彦
- ※ 理事・顧問は紙面の都合で略
- 監 事 伊東義文、江頭邦道、清田 勝
事務局長 奥松安六

(支部だより)

- ・東京支部 学長ら迎え、100名が出席 (写真)

【トピックス内容紹介】

- ・就任あいさつ
田中幸男会長 「個性ある大学づくり」へ支援を
山崎 武理事長 母校の地位確立が重要



同窓会総会



東京支部総会

支部総会であいさつする楠田学長

トピックス 支部同窓会活動の一層の活性化を！

【目次紹介】

- ・(挨拶)
- …山崎 武 理事長
支部同窓会活動の一層の活性化を！

(支部だより)

- ・山口支部 着実に輪が広がる
- ・東海支部 遠く東海より想いを
- ・大阪支部 学長、学部長を迎えて
- ・長崎支部 結成20周年向け怪気炎
- ・福岡地区 17年ぶり126名も出席
- ・筑後支部 瀨上、和仁先生を迎えて



山口支部



東海支部



大阪支部



長崎支部



福岡地区



筑後支部

トピックス 卒業生諸君へ

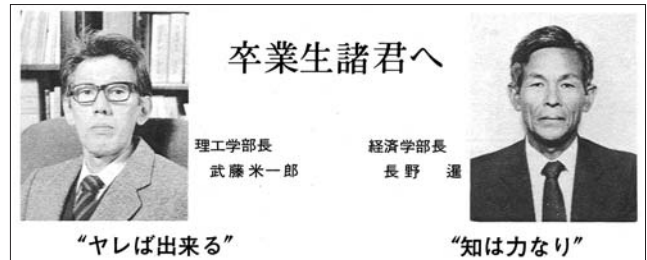
【目次紹介】

- ・卒業生諸君へ
- 理工学部長 武藤米一郎“やればできる”(右に写真)
- 経済学部長 長野 暹“知は力なり”(右に写真)

- ・就職内定状況
経済の不透明さにもかかわらず 今年も好調!
7割強が大手企業へ就職
- ・日本の印象について …経済学部管理科学科
Tiow Kwai Fun (マレーシア) (右に写真)
- ・外国人留学生の状況
11ヶ国 52名が学ぶ
- ・「佐賀大学学術振興基金」作りに協力を要請
(佐賀大学同窓会と大学との本年度第2回懇話会)
- ・文理15回(昭和42年卒)生 昭和63年度楠葉同窓会
懇親会実行委員会結成に向けて始動

【トピックス内容紹介】

・「卒業生諸君へ」
理工、経済のそれぞれ両学部長は、この度の卒業生に対し、それぞれの立場から激励された。



留学生
Tiow Kwai Fun さん

トピックス 就職懇談会開催される

【目次紹介】

- ・63年度総会 7月23日に開催予定
- ・経済、理工、両学部との懇親会開催
- ・就職懇談会開催される
- ・支部だより(佐世保支部・佐賀市役所支部・北九州支部)
- ・常務理事会開催
- ・佐賀大学学術振興事業後援会発足
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

5月24日稗田重徳常務理事(37法)の尽力で経済学部5番教室において次の方々(5名)の助言者を招いて「就職懇談会」が行われました。

野口 健(31法 佐賀市役所人事部長) 久間善郎(37法 松尾建設総務部長) 富崎昭宏(40経 佐賀銀行人事部長代理) 松本憲一(ユニー 総務室主席) 垣内克明(42法 NTT 佐賀地域コミュニティ室長)

以上5名の方々が会社を選ぶ考え方や会社訪問・就職試験での心構え等色々な面でのアドバイスがあり、学生からも真剣な質問もあり大変有意義な会となりました。



佐世保支部同窓会

トピックス 「佐賀大学学術振興基金」 設立に向けて募金活動開始

【目次紹介】

- ・63年度役員選出規定など提出議案承認
- 学生ハワイアンバンドで懇親会賑う -
(同窓会総会・懇親会)
- ・63年度事業計画について (理事長 山崎 武)
- ・63年度同窓会懇親会を終えて
(実行委員長 宮原義幸 (42法))
- ・「佐賀大学学術振興基金」設立に向けて募金活動開始
- ・村山和彦氏 (楠葉同窓会初代理事長) 小城町長初当選を祝う
- ・支部同窓会の案内 (関西支部例会・長崎支部同窓会)
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

〈募金の趣旨〉

佐賀大学創立40周年を機に、佐賀大学学術振興事業後援会を組織し、国際交流関連事業のほか佐賀大学40周年史の発刊などを含む佐賀大学学術振興事業を支援するための募金を行うもの。

〈事業概要〉

1. 学術振興事業…学術研究の推進／大学の行う事業の推進
2. 国際交流事業…研究者の海外派遣／外国人研究者の招聘／留学生への援助／国際研究集会の開催及び共同研究の実施／その他、国際交流に必要な事業
3. 募金事項及び計画
昭和63年10月1日から2年間。目標募金額 2億2千万円。



63年度総会風景

トピックス 「佐賀大学創立40周年記念同窓会懇親会」を6月に開催

【目次紹介】

- ・拡大役員会開催
- 新年度事業の進め方と任務分担、「学術振興基金」への取り組みを協議 -
- ・「佐賀大学創立40周年記念同窓会懇親会」を6月に開催
- ・支部だより…創立20周年記念式典 (長崎支部) 昨年と同じ126人が出席 (福岡地区) 南に遠く振古より (関西支部) 大分支部同窓会開かる (大分支部)
- ・歌は流れる～その1～ (大谷希幸 (30法))
- ・新しい同窓生名簿の発行について
- ・訃報 (副会長 鶴 正人氏)
- ・楠田学長の受賞を祝う (佐賀新聞社文化賞)
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

佐賀大学の三つの同窓会 (楠葉、有明。農) の協議機関として組織されている佐賀大学同窓会の役員会が開催され田中会長ほか6名の役員が出席しました。会議では61年、62年の事業報告と会計報告、63年度の事業報告 (案) 予算案を提示、承認されました。

また、会議の席上で1年毎の事務局持ち回りを64年度からは2年ずつ担当することになることと、6月に「記念同窓会」を全学同窓会の主催で開催することにし、今回は農学部を中心に実行委員会を結成することになりました。



福岡地区同窓会



関西支部例会

トピックス 就職（内定）状況

【目次紹介】

- ・ 拡大役員会、常任理事会開催(1990年版「同窓会名簿」
発刊その他について協議)
- ・ 就職（内定）状況
- ・ 楠田学長の佐賀新聞社文化賞受賞祝賀会開催
- ・ 理工学部外国人留学生卒業
- ・ 歌は流れる～その2～（大谷希幸（30法））
- ・ 鹿児島で支部結成準備会
- ・ 「90年版名簿」作成作業始動
- ・ 訃報（名誉教授長瀬二三先生）
- ・ 事務局日誌

【トピックス内容紹介】

今春佐賀大学を卒業する学生の就職状況を見ると、円高景気、内需拡大を反映して企業も採用に強気ではほとんどの学生が決定しています。

経済学部は今年も就職決定が早く、やはり金融、流通、情報、サービス関連企業に人気が集中しています。また、公務員も佐賀県庁をはじめ自治体、国家公務員など根強い人気があります



楠田学長祝賀会風景

トピックス 佐賀大学開学40周年を祝う

【目次紹介】

- ・ 役員改選－平成元年度総会 7月22日に開催－
- ・ 平成元年度同窓会・懇親会のご案内
(実行委員長 徳永泰博（43経））
- ・ 就職懇談会（200余名の後輩諸君が熱心に聴講）
- ・ 佐賀大学開学40周年を祝う
- ・ 歌は流れる～その3～（大谷希幸（30法））
- ・ 支部だより（北九州支部同窓会・東京支部総会）
- ・ 事務局日誌

【トピックス内容紹介】

佐賀大学は本年6月に開学40周年を迎えることになり、佐賀大学同窓会主催による記念式典が6月3日午後2時より大学会館において、楠田学長はじめ多数の来賓と同窓会員の出席を得て盛大に開催されました。

式典はその後、佐大混声合唱団の合唱に続いて、全員で「楠の葉」の斉唱を行い、藤田佐賀大学名誉教授の発声で万歳三唱が行われ、教育学部同窓会会長古賀信夫氏の閉会の辞で幕を閉じました。式典終了後佐賀新聞社論説委員長の河村健太郎氏による「佐賀大学のある佐賀の風景」と題する記念講演が行われました。そして6時から佐嘉神社記念館で盛大に祝賀パーティーが開催されました。



佐賀大学開学40周年パーティー風景

トピックス 平成元年度総会 会長に田中氏(29化)を再選—事務局体制強化など提出議案承認—

【目次紹介】

- ・平成元年度総会 会長に田中氏(29化)を再選
—事務局体制強化など提出議案承認—
- ・平成元年度事業計画
- ・「佐賀大学学術振興」のための募金活動一層の協力を
- ・平成元年度同窓会懇親会を終えて(徳永泰宏43経)
- ・支部便り(熊本県支部総会および懇親会を開催)
- ・新しく事務局次長にお迎えした飯盛健次郎さん
- ・1999版「同窓会名簿」12月発刊に向けて作業急ピッチ
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

平成元年度楠葉同窓会総会、懇親会は7月22日午後4時より佐嘉神社記念館において200余名の同総会の参加を得て盛大に行われました。議事においては小池副理事長より事業報告(会報報告事業、支部活動報告、就職支援事業、同窓会名簿発行事業)がありました。久間副理事長からは決算報告がなされ満場一致で承認されました。次に事務局体制の強化などを含む事業計画、予算案は小池副理事長から提案されこれも承認され、「佐賀大学学術振興基金」について報告がなされました。午後5時30分より大宴会場にて楠田学長、宮副菊葉同窓会会長をはじめ多くの来賓者や多数の外国人留学生の出席を得て、盛大な懇親会が行われました。



総会懇親会風景

トピックス 佐賀大学同窓会役員会協議事項

【目次紹介】

- ・会長・理事長新春挨拶
- ・佐賀大学同窓会役員会開催
—合同事務所の設置、学術振興基金事業への取組の強化を協議—
- ・佐賀県内支部長会議開催
—「県内支部組織」の強化と「学術振興基金事業」への取り組み強化を確認
- ・支部だより(関西支部・福岡支部)
- ・歌は流れる～その4～(大谷希幸(30法))
- ・1990年版名簿発刊
- ・訃報(田中定第3代佐賀大学長)
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

佐賀大学同窓会役員会協議事項

〈合同事務所の設置〉

三同窓会は個別に同窓会事務局を持っていますが独自の事務室を持っていません。その中、大学側より一時的な措置として教育学部特美教室西側の単棟の一室を貸して頂けるようになりました。

〈佐賀大学同窓会の今後の事業について〉

会報「楠の葉」の発行と役員会の開催による同窓会活動の相互調整、全学部で対処すべき事業への取組、同窓会費の金額、徴収方法など多面的な問題を引き続き検討することとなりました。



関西支部懇親会風景

トピックス 常任理事会・佐賀大学同窓会役員会

【目次紹介】

- ・ 就任のご挨拶 (学長 高田 弘)
- ・ 就職 (内定) 状況
- ・ ～卒業 外国人留学生～
- ・ 常任理事会開催
 - － 学術振興基金への取組等再び協議－
- ・ 佐賀大学同窓会役員会開催
 - － 合同事務所の活用に関心強まる－
- ・ 新・旧両学長と懇談
- ・ 歌は流れる～その5～ (大谷希幸 (30法))
- ・ 支部だより (福岡県庁勢意気高し－佐和会－)
- ・ 計報
 - (江頭邦道前事務局長・北島協助名誉教授)
- ・ 事務局日誌

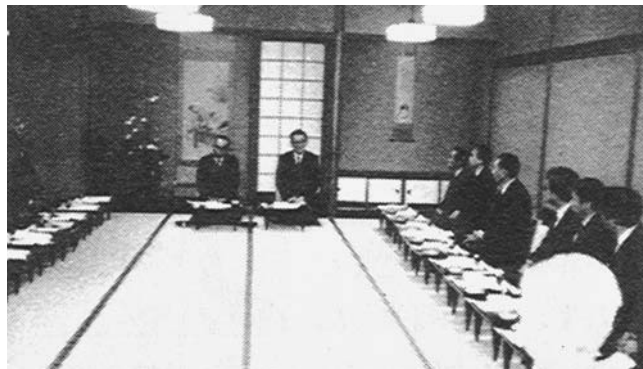
【トピックス内容紹介】

常任理事会

「学術振興基金事業」への取り組み強化について協議がなされ、暮れの佐賀県内支部長会議の確認に従い、支部毎、職場毎に基金のとりまとめをお願いすることとなりました。

佐賀大学同窓会役員会

「佐大同窓会事務所」の活用や経費の問題等について協議が行われ、夫々の同窓会の実情に合わせ応分の負担を行いながら積極的に活用していくことが確認されました。



新・旧両学長懇親会風景

トピックス 老師を励ます会 和仁先生の喜寿を祝う

【目次紹介】

- ・ 平成2年度総会7月28日に開催
- ・ 平成2年度同窓会のご案内
 - (実行委員長 浅川達夫 (44経))
- ・ 今年も就職懇談会ひらく
- ・ 老師を励ます会 和仁先生の喜寿を祝う
- ・ 経済・理工、両学部との懇談会開催
- ・ 新理工学部長 伊藤栄彦教授就任
- ・ 歌は流れる～その6～ (大谷希幸 (30法))
- ・ 支部だより (熊本支部・佐賀市役所支部)
- ・ 事務局日誌

【トピックス内容紹介】

5月19日の夕、富士町古湯温泉郷の大和屋旅館において、和仁孝三佐賀大学名誉教授の喜寿を祝う会が開かれました。

大谷希幸氏 (30法) の呼びかけに応じて全国から集まった同窓生は旧文理学部を中心に30名。学生時代の和仁先生の思い出話を交え、夜遅くまで歓談がなされました。



和仁先生喜寿を祝う

トピックス 平成2年度総会懇親会

【目次紹介】

- ・平成2年度総会 事業計画案等承認
- ・懇親会 留学生お国自慢の歌等で賑う
- ・就任挨拶 (新理事長 久間善郎)
- ・退任挨拶 (旧理事長 山崎 武)
- ・拡大役員会開催
 - － 学術振興基金への協力体制等を決定－
- ・蘇った青春－平成2年度楠葉同窓会懇親会にて－
(実行委員長 浅川達夫 (44経))
- ・歌は流れる～その7～ (大谷希幸 (30法))
- ・支部だより (大分支部)
- ・訃報 (永田正直名誉教授)
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

平成2年度楠葉同窓会総会、懇親会は7月28日午後4時より佐嘉神社記念館において200名余の同窓生の参加を得て盛大に行われました。久間善郎新理事長の挨拶の後議事に入りました。事業報告、決算報告がなされ満場一致で承認されました。次に会費の「値上げ案」(十年会費は2万円、終身会費は6万円へ改訂)が特別提案されこれも承認されました。最後に「佐賀大学学術振興基金」の現状報告がなされ今後の活動方法について理事会に一任されました。引き続き、大宴会場に入り高田学長をはじめ今回も多くのお来賓や多数の外国人留学生の出席を得て盛大に行われました。



懇親会風景

トピックス ご支援ありがとうございました－学術振興基金の募金活動終わる－

【目次紹介】

- ・賀正 (会長 田中幸男 理事長 久間善郎)
- ・ご支援ありがとうございました
 - － 学術振興基金の募金活動終わる－
- ・常任理事会及び役員会開催
 - － 学部設置に関する要望書提出等を決定－
- ・支部だより (佐世保支部・福岡支部)
- ・歌は流れる～その8～ (大谷希幸 (30法))
- ・事務所移転
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

昭和63年10月1日から2年間に亘って佐賀大学が行った学術振興基金は卒業生はもとより県内企業その他各方面から特段のご援助があり目標金額2400万円には達しませんでした、その約60%の金額を頂くことができました。

去る12月7日基金を大学に寄付し後援会は解散されました。この基金は「佐賀大学学術振興基金」として管理し、この果実が大学の学術振興と国際交流の推進に当てられることになります。



福岡支部同窓会風景

トピックス 学生にとっては超売り手市場

【目次紹介】

- ・ 新入生の皆さんへ
 (楠葉同窓会 会長 田中 幸男)
- ・ 学生にとっては超売り手市場
- ・ 卒業～外国人留学生～
- ・ 文学部、法学部の新設を要望
- ・ 理工学部「博士課程」新設
- ・ 楠田前学長の叙勲を祝う
- ・ 歌は流れる～その9～(大谷希幸(30法))
- ・ 拡大役員会開催
- ・ 訃報 (石田八洲雄名誉教授)
- ・ 事務局日誌

【トピックス内容紹介】

経済学部は、今年も「超」売手市場といわれているように、前年に続き好調そのもので就職希望者はほぼ全員決定しています。1人で数社の内定を得て、最後の選定に頭を痛めている学生も多くなったようです。

業種別では、相変わらず金融、保険、商業、サービス関連に多く集中していますが、公務員志望も例年同様根強いものがあります。就職先については、近年の傾向として「地元志向」が益々多くなっている点が指摘されています。多面、いわゆる一流・有名企業への就職率が高くなってきていますが、そこには多少ファッション的なもの、「寄らば、大樹のかげ」的なものが感じられ、総じてチャレンジの気合が薄れてきたように思われます。



楠田前学長叙勲祝賀会(ホテルニューオータニ佐賀)

トピックス 開学の頃の佐賀大学を語る—名誉教授をお招きして座談会開催—

【目次紹介】

- ・ 平成3年度総会 7月20日に開催 役員改選
- ・ 平成3年度同窓会懇親会のご案内
 (実行委員長 園田 章 (45経))
- ・ 恒例の就職懇談会ひらく
- ・ 経済学部にも早く大学院を!
- ・ 開学の頃の佐賀大学を語る
 — 名誉教授をお招きして座談会開催 —
- ・ 歌は流れる～その10～(大谷希幸 (30法))
- ・ 佐賀大学同窓会役員会開催
- ・ 経済・理工両学部との懇談会ひらく
- ・ 事務局日誌

【トピックス内容紹介】

平成3年6月1日佐賀大学開学記念式典が行われ、同窓会主催で名誉教授による座談会が行われました。座談会のテーマは「開学の頃の佐賀大学を語る」でした。(ご出席者(五十音順) 井上正喜先生 藤田秀雄先生 淵上 力先生 水之江有義先生 山川 豊先生 和仁孝三先生)

〈座談会の話題〉

戦後の学制改革で、佐賀大学が新制大学として発足するにあたっては、旧制佐賀高等学校と旧佐賀師範学校や旧佐賀青年師範学校の間と考え方が一致しなかったということは大分の方がご存知のことでしょうが、生の話を聞くことは初めてでした。座談会にご出席の先生方は当時から在職され各種会議にも参加された方ばかりで、お話を伺って“それほど大変なものであったのか”と驚くばかりでした。その後の話は当時の生活ぶりや大学事情など多岐に及び予定の2時間はあっという間に過ぎていきました。



座談会風景

トピックス 佐大コーラス部で懇親会賑う

【目次紹介】

- ・平成3年度総会 会長に田中氏 (29・化) を再選 - 佐大コーラス部で懇親会賑う -
- ・平成3年度事業計画・新役員紹介・平成2年度決算報告・平成2年度別途積立金特別会計決算報告・平成3年度予算・平成3年度別途積立金特別会計予算
- ・支部からこんにちは (東海支部・熊本支部)
- ・「大学院工学系研究科博士課程設置記念式典および記念講演」開かれる
- ・開学の頃の佐賀大学を語る (I)
- ・歌は流れる～その11～ (大谷希幸 (30法))
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

総会に続いて5時半から懇親会に移り、高田弘佐賀大学長をはじめ多くの来賓の臨席、そして、昨年に続き今年も多くの留学生の出席を得ることができました。今回は特に佐大混声合唱団 (コーラス部) の諸君が出席してくれ、従来とは一味違ったアトラクションで懇親会が尚一層盛り上りました。

なお当日は、総会に先立って、楠葉同窓会顧問会議が開かれました。今回ははじめての試みでしたが、活発な意見交換があり有意義なものとなりました。



新しく選ばれた役員の紹介

トピックス 佐大今昔会議始動

【目次紹介】

- ・新年明けましておめでとうございます - 花盛り! 「支部同窓会」特集 -
- ・開学の頃の佐賀大学を語る (II)
- ・歌は流れる～その12～ (大谷希幸 (30法))
- ・佐大今昔会議始動
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

『佐大今昔会議では本年度新規事業として採択された「佐大に関する古い情報・資料等の収集活動」に本格着手することになりました。

母校が創立後42年を経た今日、私たちの周りには証拠となる古い情報や資料が少なく「語り草」さえ乏しい状況です。また往時を知る人たちも少なくなりました。とにかく“情報を集め保存しなければ”という一種危機感にいた心情からこの事業が生まれました。方法については、開学の頃から佐賀大学に係ってこられた名誉教授を始め元教職員及びご家族の皆様方、卒業生の皆さんらに呼びかけ支援を得て古い時代の「佐賀大学に関する貴重な情報・資料等」を収集するというものです。』

上記内容で協力依頼が「なんよう」に掲載されました。



開学の頃の佐賀大学を語る (II) のイラスト (不知火寮)

トピックス 経済学部「修士課程」新設

【目次紹介】

- ・理工・経済とも超売手市場－就職状況－
- ・支部からこんにちは
(鹿児島県支部誕生・山口支部)
- ・特別寄稿－佐大維新
- ・開学の頃の佐賀大学を語る(Ⅲ)
- ・和仁先生を偲ぶ会
- ・歌は流れる～その13～(大谷希幸(30法))
- ・経済学部「修士課程」新設
- ・'93年版名簿作成始まる
- ・訃報
(和仁孝三名誉教務 三好不二雄名誉教授)
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

待望久しかった大学院経済学研究科(修士課程)がいよいよ平成4年度に発足することとなりました。本研究科は、金融・経済政策専攻及び企業経営専攻の2専攻からなる修士課程となっています。

経済学研究科は、高度の専門的能力を有する社会人の養成や再教育を一つの目的とされていますので、職業を持つ人々が勤務しながら通学できるように昼夜開講制が実施されます。社会人を積極的に受け入れ、夜間に講義や演習を受け2年間とも夜間だけで修士課程が終了できるようになっています。



経済学部本館(経済学部「修士課程」新設)

夜間コースは全国の経済系大学院でも富山大学について2番目で、選抜方法も携わる仕事に関する論文など実務経験が重視されます。

トピックス 名誉教授をお招きして座談会「草創の頃の佐賀大学を語る」

【目次紹介】

- ・平成4年度総会7月25日に開催
－懇親会には外国人留学生も招待－
- ・懇親会のご案内(実行委員長 於保直隆(46・経))
- ・支部からこんにちは(北九州支部・佐賀市役所支部)
- ・和仁先生安らかに－しめやかに偲ぶ会と百か日法要－
- ・歌は流れる～その14～(大谷希幸(30法))
- ・就職懇談会に全学から参加
- ・経済・理工両学部の懇談会
- ・名誉教授をお招きして座談会「草創の頃の佐賀大学を語る」
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

6月1日の開学記念日に、名誉教授の先生方をお招きして、楠葉同窓会主催による座談会を開催しました。出席されたのは内山良男、小野志真男、藤田秀雄、淵上力の各先生です。とりわけ内山先生には高齢をおしてこの日の座談会においでいただきました。

この座談会は、昨年の「開学の頃の佐賀大学を語る」に続く第二弾で、今年は「草創の頃の佐賀大学を語る」というテーマで、西久光初代学長の時代を中心にお話していただきました。今日、総合大学としてその威容を誇る母校も、草創期の頃は新制大学として文字通り零から出発したため何かと大変だったようです。文理学部と教育学部の二学部だけの大学と発足した経緯やその後の教育体制、農学部の独立など、大変貴重なお話を伺うことができました。



和仁先生を偲ぶ会で「寮を去る日に」を歌う卒業生

トピックス 先手必勝 就職懇談会開催

【目次紹介】

- ・卒業おめでとう 3月23日卒業式
学部学生ら1,137名巣立つ
- ・就職状況－不況風の影響少なし
理工学部・経済学部とも順調に内定
- ・先手必勝 就職懇談会開催
- ・支部からこんにちは (鹿児島県支部)
- ・わが母校 佐大の思い出
Part 3 「母なる佐賀の街」(並松 寿 (34・国文))
Part 4 「追憶」(佐藤広市 (元佐大職員))
Part 5 「不知火寮 建替への頃」
(井出 勇 (元事務局長))
- ・新経済学部長に蔦川正義教授就任
- ・歌は流れる～その17～ (大谷希幸 (30法))
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

3年次生を対象とした就職懇談会が12月22日の午後3時から経済学部5番教室で開催され経済学部生を中心に約200名の学生が先輩の助言に耳を傾けました。後輩の就職活動に少しでも役立てばということで、第一線で活躍しておられる先輩から就職に当たっての考え方、準備等についてアドバイスしていただいている就職懇談会ですが、従来は4年次生を対象に5月に開催していましたが、このところの不況の深刻化により就職戦線も厳しくなったため、今年から繰り上げて3年次生を対象に開催したものです。今回の講師は、佐賀銀行県庁支店長徳永泰宏



氏(43・経)、リコー MA 事業部次長稲山岩夫氏(45・経)のお二人でした。

鹿児島県支部総会・懇親会

トピックス 経済・理工学部との懇談会開催

【目次紹介】

- ・平成5年度総会・懇親会 7月24日に開催
- ・平成5年度同窓会のご案内
(実行委員長 中島 道夫 (47・化))
- ・支部からこんにちは (佐大支部「支部総会開く」)
- ・経済・理工学部との懇談会開催
- ・新卒者からのたより (萩 理恵子 (H5・化))
- ・新入生からのたより (黒田伸文 経済学部1年)
- ・わが母校 佐大の思い出
Part 6 「鍋島藩儒学者 草場佩川との出会い」
(斎藤 功 (元事務局長))
- ・わが母校 佐大の思い出
Part 7 「沖縄留学生」のころ (大濱和男 (29・法))
- ・歌は流れる～その18～ (大谷希幸 (30法))
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

5月25日恒例の経済・理工両学部と楠葉同窓会役員との懇談会が開催されました。その中、蔦川経済学部長からは、大学院経済学研究科(修士課程)が設置されて2年目になり、来年3月には一期生が終了予定であることが紹介されました。また昨年度経済学部の「教育制度検討委員会」が行ったアンケート調査では同窓会に大変お世話になったこと、さらには、バブルが弾けて卒業予定者の就職が厳しくなっていることで、今後とも同窓会のお世話になることが多いことなどの話があり、母校発展のためにも同窓会の充実の必要性を出席者一同改めて認識した次第でした。



大濱氏の思い出 (文理・法律卒の分散会)

トピックス 第1回常任理事会 同窓会館建設を確認！

【目次紹介】

- ・関本 優新会長 ごあいさつ
- ・平成5年度総会 会長に関本氏(31・経)選出
-アトラクションのバンドで盛り上げる-
- ・平成5年度事業計画・平成4年度決算報告等
- ・第1回常任理事会 同窓会館建設を確認！
- ・支部総会懇親会大幅に増加
- ・平成5年度同窓会懇親会を終えて
(実行委員長 中島道夫(47・化))
- ・わが母校 佐大の思い出
Part 8「開学の頃 イールズ声明の波紋」
(大野省治(25・理))
- ・歌は流れる～その19～(大谷希幸(30法))
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

8月18日第1回常任理事会が開催され、役員改選に伴う任務分担と同窓会館建設問題が協議されました。

会館建設問題は、本年2月の佐賀大学キャンパス構想で旧正門近くに用地が提示されたことで急浮上しました。本年度総会で楠葉として会館建設が確認されたのを受けて、常任理事会で建設の方針を確認したものです。なお、会館建設については9月20日開催の佐賀大学同窓会役員会でも確認され、建設準備委員会が設置されました。



47年卒業の同窓会懇親会実行委員会のメンバー

トピックス 佐大PR 広告

【目次紹介】

- ・「同窓会館」建設に向けて、会員の英知を！
- ・支部からこんにちは
(佐世保支部・東京支部・鳥栖 三神支部)
- ・わが母校 佐大の思い出
Part 8-2「開学の頃 イールズ声明の波紋」(続)
(大野省治(25・理))
- ・歌は流れる～その20～(大谷希幸(30法))
- ・勉強と交流(アグス・ファナル・シュクリ 理工・情報
4年生・インドネシア)
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

佐大PR 広告のキャッチコピーです。

拝啓 高校生諸君！

東京や福岡もよいが、佐賀も捨てがたい。

学生は、勉強はもちろんよく遊びもする。とにかく精一杯がんばる。

先生は精一杯支援する。

佐大は、君の身近な少数精鋭の大学です。



支部総会風景

トピックス 第1回佐賀県青春寮歌祭

【目次紹介】

- ・(祝) 卒業生へ
- ・支部からこんにちは
(筑後支部・鹿児島支部・長崎支部)
- ・わが母校 佐大の思い出
part 9「あの頃」(井上淳二 (29・法))
- ・キャンパス 学生の自治組織
(御手洗 永 経済学部4年生)
- ・厳しさまず就職戦線 来春に向けて「就職懇談会」開催
- ・第1回佐賀県青春寮歌祭
- ・「老楠の葉かげに」発行
-和仁先生追悼録、600頁越す大著に-
- ・歌は流れる～その21～(大谷希幸 (30法))
- ・次期理工学部長に三浦哲彦教授就任
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

平成5年12月18日「メートプラザ」において第1回佐賀県青春寮歌祭が開催されました。参加高は、北の北海道大学を始め南の鹿児島大学まで15の国・私立の大学が集まりました。各校は、10分以内で学校紹介、同窓会の活動状況を報告し、寮歌、校歌、応援歌等を歌うと言うことで、わが佐賀大学も田中佐大同窓会会長以下20数名の同窓生と、旧制佐高最後の卒業生である香月孝氏が参加しました。佐賀大学は地元大学ということで、最後の真打を勤め、我等が朴訥の歌、熱血の舞を披露して、わが青春の日を謳歌しました。



佐賀県青春寮歌祭

トピックス 佐賀大学開設45周年 節目の総会を迎えるにあたって—久間理事長挨拶抜粋—

【目次紹介】

- ・佐賀大学開設45周年 節目の総会を迎えるにあたって
- ・平成6年度同窓会懇親会のご案内
(実行委員長 鈴木 正美 (48・経))
- ・支部からこんにちは (東海支部・北九州支部)
- ・わが母校 佐大の思い出
Part10「思い出に残る佐賀の街」(小川弘行 (28・英文))
- ・歌は流れる～その22～(大谷希幸 (30法))
- ・わが母校 佐大の思い出
Part11「図書館の暖房物語」
(宮原賢吾 (元付属図書館事務長))
- ・キャンパス 卒業生として教官として
(松尾 繁 (60・機))
- ・経済・理工両学部との懇談会開催報告
- ・事務局日誌

【トピックス内容紹介】

佐賀大学が開設されたのが1959年ですので45周年を迎えます。大学がますます充実され、わが楠葉同窓会関係を見ましても、この春には理工学部からドクターが経済学部からはマスターが初めて誕生しており、地方の大学としての基盤を確固としています。同窓生も全国各地で活躍しており心強さを感じている次第です。楠葉同窓会が発足したのが1979年で母校の30周年の時でしたから15年を経たこととなります。この間、後輩たちへの就職支援活動、会報発行などを中心に佐賀大学のPR、国際交流基金の募集等いろいろな活動を展開しているところです。



支部からこんにちは (東海支部 (左)・北九州支部 (右))

トピックス 提言



【目次紹介】

- ・ 提言…佐賀大学同窓会 会長 田中 幸男
- ・ 平成6年度 総会・懇親会開催報告
～新たに理工学部向け就職懇談会企画～
- ・ 第45回 佐大開学祭
- ・ わが母校 佐大の思い出
内田 琢也 (31・法)「佐大入学・不知火寮卒」
齋藤 利夫 (28・法)「自由満喫の社交ダンス」
- ・ 歌は流れる その23…大谷 希幸 (30・法)

【トピックス内容紹介】

51号の表紙を飾った佐大開学祭写真と同じ頁に、田中同窓会会長は、楠葉同窓会へ二つの提言をされています。一つ目は、会費未納入者への働きかけと組織づくりの強化、二つ目は、佐賀大学とともに佐賀県を活性化するべくもつと外へ向けて発言をしていくべきではないかとの進言です。今も通じる課題であることが強く実感させられます。

トピックス 此の地に不知火寮在りき

【目次紹介】

- ・ 提言「家庭教育への寄与を」……元佐賀大学学長 楠田 久男
- ・ 支部からこんにちは……鳥栖・三神支部 諫早支部
- ・ わが母校 佐大の思い出「二足草鞋のながら族」……岡村 昭 (30・法)
- ・ 歌は流れる その24……大谷 希幸 (30・法)
- ・ 「日々是好日」……宮里 敬子 (29・経)
- ・ 3年次対象 就職懇談会開催
- ・ 10月29日、大学会館前庭に建碑と植樹
「此の地に不知火寮在りき」

【トピックス内容紹介】

大学会館前庭にて、旧制佐高時代からあった不知火寮・四寮跡地に記念碑「此の地に不知火寮在りき」が建ち除幕式が行われました。

不知火寮は、佐高開校三年後の大正12年に全六寮が完成、老朽化し昭和57年6月に解体されるまで約60年間学生の間人形成の場でした。

式には、佐高と佐大創成期の卒業生約60名が集まり、高田弘学長により除幕されました。

また、昭和7年から歌い継がれている不朽の寮歌「南に遠く」を大合唱したと綴られており、当時の先輩方の不知火寮への想いが伝わってきます。



(写真左)「豊穡の像」—農学部—
(写真右)「遥かなり十五畷」佐高生ブロンズ



▲不知火寮跡地の碑

トピックス PHOTOGRAPH—青春寮歌祭の各場面から—

【目次紹介】

- ・21世紀に向けた新しいまちづくりを
…佐賀市助役 野口 健 (31・経)
- ・支部からこんにちは…鹿児島支部、鳥栖・三神支部
- ・PHOTOGRAPH —青春寮歌祭の各場面から—
- ・わが母校 佐大の思い出
南 幸夫 (27・理科)「嵐の中で育まれた寮の友」
- ・歌は流れる その25…大谷希幸 (30・法)

【トピックス内容紹介】

記事はなく、PHOTOGRAPHとして「第2回佐賀県青春寮歌祭」の活気ある模様の写真が多数掲載されています。全国の大学校歌や寮歌を歌いあうこの祭典は年々減少し、現在九州地区では、佐賀での開催のみとなっています。

昨年は第21回目が25校300人を集め開催されました。未だ衰えぬ「熱気」に敬服の念さえ抱くとともに、是非とも今後も続いてほしいものです。



トピックス 草創期の印象深い先生達

【目次紹介】

- ・平成7年度総会・懇親会
- ・支部からこんにちは…鳥栖・三神支部 諫早支部
- ・PHOTOGRAPH —平成6年度卒業式(学位授与式)
- ・わが母校 佐大の思い出…
長石彦之 (28・法)「草創期の印象深い先生達」
木下鴻平 (35・法)「失望」
- ・歌は流れる その26…大谷希幸 (30・法)
- ・理工学部教職員と楠葉同窓会役員との懇親会開く



◀後輩に胴上げされる



▲卒業生代表に学位記を授与する高田学長

【トピックス内容紹介】

連載「わが母校 佐大の思い出」の中で、長石氏は、学生時代に出会ったユニークな先生方の思い出を綴っています。

一般教養・美術の石本先生について、玉屋デパートで開かれた絵画展が臨時的教室になったこと、同じく物理学の高田先生に「ナメクジに塩をかけると何分で溶けるか」などの難問を出されたこと、民法の三島先生との口述試験についてのエピソードなど、佐賀大学草創期の四年間に多くの方々の善意に支えられ過ごすことができたことについて、謝意を込めて描かれています。

トピックス サッカーに賭けた青春

【目次紹介】

- ・提言…佐賀経済同友会 代表幹事 井田圓之
「九州経済の展望」
- ・平成7年度同窓会総会・懇親会報告
「はがくれの里」テーマにした記念公園と
葉隠太鼓に大満足！
- ・PHOTOGRAPH 一盛況の懇親会—
- ・支部からこんにちは…長崎支部
- ・平野先生の叙勲を祝う…野田寿一（43・経済）
- ・わが母校 佐大の思い出
陶山良夫（28・経済）「サッカーに賭けた青春」（上）
- ・歌は流れる その27…大谷希幸（30・法）

【トピックス内容紹介】

連載「わが母校 佐大の思い出」に陶山氏は、昭和24年6月、不知火寮で夕食に得体の知れない珍味なちゃんこ鍋を食べさせられたことで、佐大生活がスタートしたと話します。

そして盟友の「高山君」と出会いサッカーに打ち込んだこと、初めての後輩が入学しメンバーの編成ができて、九大との定期戦に勝利、そこから第一期黄金時代がスタートしたと綴っています。

まさに、佐賀大学サッカー部の歴史の始まりを感じとることができます。



五高寮歌を熱唱する現・前学長と菊葉会の皆さん



後左から2人目陶山氏

トピックス 提言「博物館と学校教育」

【目次紹介】

- ・提言…佐賀県立博物館美術館 館長 深川弘一
「博物館と学校教育」
- ・支部からこんにちは…鳥栖・三神支部 東海支部
佐賀支部 筑後支部
- ・わが母校 佐大の思い出
陶山良夫（28・経済）「サッカーに賭けた青春」（下）
- ・歌は流れる その28…大谷希幸（30・法）
- ・第6回日韓中・学術交流シンポが韓国で開催、
木挽副知事も報告〔経済学部〕
- ・PHOTOGRAPH 佐賀市内の自然風景
- ・花を添えた新名簿



◀ 観覧者が300万人をこえた県立博物館

【トピックス内容紹介】

佐賀県立博物館美術館館長の深川氏は、ヨーロッパの博物館は、特に子供達が気軽な感覚で博物館に行っていること、英国では小中高の授業の一環として博物館や主な史跡等での学習が義務付けられていることを例に挙げ、県立博物館でも博物館と学校教育の連携を行い、文化施設としてまた生涯学習施設としての「学博連携」の必要性を説いています。

本学にも美術館が誕生したことと鑑みても、今拝読しても時代の移ろいを感じさせない、とても意義深い提言であることに気づかされます。

トピックス PHOTOGRAPH—キャンパス発・桜便り—

【目次紹介】

- ・提言…佐賀大学電子工学科 助教授 籠田和徳
- ・支部からこんにちは…鹿児島支部
- ・第3回佐賀県青春寮歌祭 ～学生時代に帰り声高らかに～
- ・PHOTOGRAPH～キャンパス発・桜便り～
- ・わが母校 佐大の思い出
宮里敬子 (29・経済)「白い花の咲く頃」
- ・歌は流れる その29…大谷希幸 (30・法)
- ・学内の動き
第八代学長に佐古宣道農学部教授が就任
理工学部長に上原春男教授決定
今春8名の恩師が定年退官、高田弘学長も任期満了に伴い退官
- ・キャンパス…ペンダイアン(中国・留学生)「日本経済に学ぶ」
- ・就職懇親会(理工)が開催される



▲春の日に語らう学友：経済学部1号館



理工学部本館南棟▶

【トピックス内容紹介】

平成7年4月のキャンパス風景が満開の桜とともに写真に納められています。

絶妙なアングルなど玄人はだしな撮影技術は、白黒で発行されている「なんよう」がカラーであればと残念に思うほどです。

トピックス わが青春の懺悔録

【目次紹介】

- ・平成8年度同窓会懇親会のご案内
…実行委員長 井田敏郎 (50・経済)
- ・PHOTOGRAPH～佐大の思い出を語る会～
- ・わが母校 佐大の思い出 龍政人 (29・法)
「わが青春の懺悔録」
- ・恩師の近況
- ・歌は流れる その30…大谷希幸 (30・法)
- ・キャンパス…工学系研究科研究生 石原暁秀(H8・化)
「佐大将棋部とは」
- ・理工学部30周年記念誌完成す！



多くの女性が詰めかけた満員の模擬裁判

【トピックス内容紹介】

わが母校佐大の思い出の中で、龍氏は、「わが青春の懺悔録」と題して学生時代の様々なエピソードを紹介されています。

とりわけ印象的なのは、昭和29年1月に佐賀新聞会館で開催した「婚姻予約不履行による損害賠償請求事件」をテーマとした模擬裁判の様です。

劇団員や多くの女性も参加した本番さながらの模擬裁判は、NHKでも紹介されており、写真からはその熱気が伝わってきます。

トピックス

PHOTOGRAPH—教養部から全学教育センターへ—

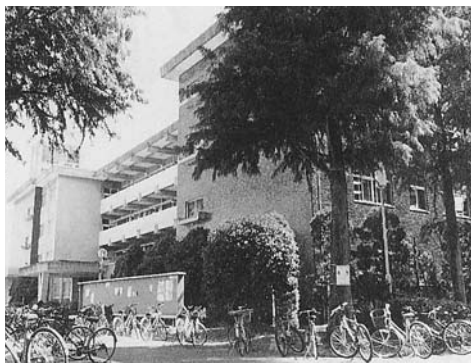
【目次紹介】

- ・平成8年度同窓会総会・懇親会 ～ビンゴゲームに一喜一憂～
- ・PHOTOGRAPH～教養部から全学教育センターへ～
- ・相集う学生新聞局同窓会
- ・41年卒30周年同期会
- ・わが母校 佐大の思い出 Masood Jelokhani-Niaraki
「Post-graduate Study in the Faculty of Science and Engineering」
- ・歌は流れる その31…大谷希幸 (30・法)
- ・両学部との懇談会
- ・来たれ！青春寮歌祭

【トピックス内容紹介】

教養部から全学教育センターへ移行していったときの学生の様子や学内風景が撮られています。

看板を変えた学務係や建物などを紹介していますが、この時にはすでに多くの自転車が写り込んでいて、構内を歩かない文化!?はすでに浸透しているようです。



▲全学教育センターの事務部がある本館の北棟と玄関



▲学生ホールで微笑む学生たち
(入学時から各学部所属し、専門科目と並行して一般教育科目を受講する)

トピックス

自らの可能性を探して～劇団ぼっち

【目次紹介】

- ・提言…佐賀県経営者協会 常務理事 青山祐二 (42・経済)
「地域と大学」
- ・支部からこんにちは …鳥栖・三神支部
- ・PHOTOGRAPH～有明海の詩～
- ・わが母校 佐大の思い出 寺島忠登 (37・法)
「野球・アルバイトそして友人達」
- ・キャンパス…佐賀大学庶務部 諸富茂文
～自らの可能性を探して～劇団「ぼっち」
- ・さかの風物…「バルーンフェスタ」
- ・歌は流れる その32…大谷希幸 (30・法)
- ・同窓会活動告知板
- ・キャンパス…工学系研究科研究生石原暁秀 (H8・化)
「佐大将棋部とは」
- ・理工学部30周年記念誌完成す！

【トピックス内容紹介】

1996年、創立25周年を迎えた「劇団ぼっち」は、佐賀県で唯一常時200名以上の観客を集めることができる劇団として紹介されています。

佐賀大学に拠点をおき、庶務課長補佐柿添氏の呼び掛けにより創立され、「ボチボチでも進んでいこう」との趣旨により命名されました。

写真からは、本格的な舞台セットの中演じてる様子が伺え、当時の盛り上がりが見えます。



平成2年11月16日第19回公演「遺された愛」

トピックス 提言—個性ある大学へ

【目次紹介】

- ・ 提言…日本銀行佐賀事務所 所長 小栗誠治
「個性ある大学へ」
- ・ 支部からこんにちは…宮崎支部
- ・ キャンパス…理工学部工業化学科3年 河野哲也
「佐大ゴルフ愛好会」
- ・ PHOTOGRAPH～山びこの詩～
- ・ わが母校 佐大の思い出 稲山岩夫（45・経済）
「人生の基礎と素晴らしい仲間をくれた佐大」
- ・ 歌は流れる その33…大谷希幸（30・法）
- ・ トピック～今春めでたく13人の恩師が定年退官
- ・ 学内の動き～新経済学部長に鷹巢信孝教授選出

【トピックス内容紹介】

「提言」の中で日本銀行佐賀事務所の小栗氏は、これからの大学は「個性」大切であると指摘、応援の意を込めて三つの提言をされています。

第1に、魅力ある教授陣を増強すること、第2に従来にもまして地域への貢献に取り組むこと、第3に文学や哲学といったリベラルアーツの教育を大切にするなどなどを挙げられ、併せてベンチャービジネス育成に意欲的に取り組んでいることを高く評価されています。

提 言 個 性 あ る 大 学 へ

日本銀行佐賀事務所 所長 小栗誠治



トピックス 支部からこんにちは—佐賀市役所支部

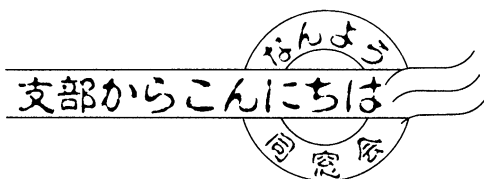
【目次紹介】

- ・ 平成9年度同窓会懇親会のご案内
…実行委員長 谷山精智（51・機械）
- ・ PHOTOGRAPH～協和館（佐賀城天守閣跡）他～
- ・ わが母校 佐大の思い出 中島嘉幸（45・機械）
「大学時代の思い出と社会生活25年間の感想」
- ・ 歌は流れる その34…大谷希幸（30・法）
- ・ 支部からこんにちは…佐賀市役所支部 鳥栖・三神支部
- ・ 佐大の思い出を語る

【トピックス内容紹介】

佐賀市役所支部の同窓会がニューオータニ佐賀開催、新入職員を含む70名が参加しました。

懇親会では、名物「おじゃま虫音頭」を踊ったり、恒例の巻頭言、作詞者の田中幸男会長を囲んで、佐賀大学学生歌「楠の葉の」を全員肩を組んで合唱したことなどが報告されています。

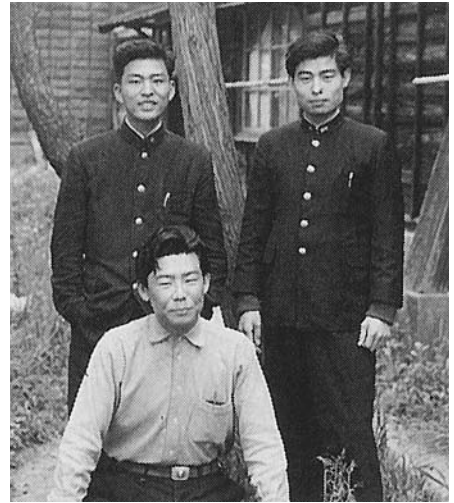


学生歌を肩を組んで全員で歌う

トピックス 不知火寮に青春のメモリー

【目次紹介】

- ・提言…食・エネ・環境総合研究所 総括研究理事 木塚正光
「可能性を秘める佐賀農業の展望—新たな農業基本法制定への期待—」
- ・平成9年度総会・懇親会
～「佐賀大学創立50周年記念事業」への取り組みを確認
- ・理工学部30周年を祝う
- ・わが母校 佐大の思い出 谷本親史 (37・国分)
「不知火寮に青春のメモリー」
- ・歌は流れる その35…大谷希幸 (30・法)



【トピックス内容紹介】

谷本氏は、昭和33年春に不知火寮での生活を始め、入寮歓迎コンパのエピソードやフラフープやダッコちゃんなどの当時の流行、米を飯ごうで炊きバターと醤油で味付けした夜食がとても美味かったことなどの思い出を綴られています。

そして、卒業後20年を経た昭和56年12月19日、不知火寮が廃寮になるセレモニーに駆けつけ冬の花火を眺めた思い出など、学生時代が卒業後の人生の糧となったことを感謝の言葉で締めくくられています。

トピックス 理工学部30周年記念式典祝賀会

【目次紹介】

- ・提言 …財団法人佐賀経済調査協会 理事長 宮崎善吾
- ・インド国立海洋技術研究所と海洋温度差発電開発で協力協定覚書締結
- ・PHOTOGRAPH～理工学部30周年記念式典祝賀会～
- ・支部からこんにちは…東海支部 大分支部 鳥栖・三神支部
長崎支部 熊本支部
- ・キャンパス…生産機械工学科3年 福田孝次
「佐賀大学混声合唱団ユーロ・カンフォーラ」
- ・わが母校 佐大の思い出 中川哲也 (51・経済)「考古研と仲間達」
- ・歌は流れる その36…大谷希幸 (30・法)
- ・佐大の思い出を語る
- ・「理工学部同窓会」設立準備委員会発足す

【トピックス内容紹介】

平成9年9月27日、ホテルニューオータニ佐賀において「理工学部30周年記念式典祝賀会」が開催されました。

式典には、楠田学長、井本県知事、池田元学長、佐古学長、高田前学長、保利元文部大臣らも出席され、盛大な式典となりました。



特別来賓室で（楠田久男学長、井本県知事、池田元学長、佐古学長、保利元文部大臣）



▲楠葉同窓会の組織を説明している関本優同窓会会長

トピックス 佐賀大学アイスホッケー部

【目次紹介】

- ・ 提言 …アバンセ館長 高田 弘「生涯学習社会と佐賀大学」
- ・ 支部からこんにちは…鳥栖・三神支部 鹿児島支部
- ・ PHOTOGRAPH～学生生活スタート～
- ・ わが母校 佐大の思い出 田中正和 (48・化学)
「知識の必要性を知る」
- ・ 歌は流れる その37…大谷希幸 (30・法)
- ・ 学内の動き
経済学部…4月から2課程4コース制へ移行
理工学部…大学院工学系研究科に独立専攻設置
理工学部長は上原春男教授再任
- ・ キャンパス…経済学部管理科学科2年 松原圭一郎
「佐賀大学アイスホッケー部」
- ・ 就職懇談会(理工)が開催される

【トピックス内容紹介】

今回の「キャンパス」では、アイスホッケー部が紹介されています。

筆者は当時経済学部の2年生で、2部リーグで優勝したものの1部リーグとの入れ替え戦においてあえなく敗れ、来年こそはと頑張る様子が学生らしく素直に表現されています。

「なんよう65号」が発行された1998年は、長野冬季オリンピックが開催された年でもありません。



佐賀大学
アイスホッケー部



トピックス PHOTOGRAPH～文理初期の化学教室～

【目次紹介】

- ・ 平成10年度同窓会懇親会のご案内
実行委員長 西村芳昭 (52・経済)
- ・ PHOTOGRAPH～文理初期の化学教室～
- ・ わが母校 佐大の思い出 手島康隆 (37・文理)
「思想の原点になった時代」
- ・ 歌は流れる その38…大谷希幸 (30・法)
- ・ 支部からこんにちは…北九州支部
- ・ キャンパス…理工学部化学科3年 工藤龍彦
「佐賀大学アニメーション研究会」

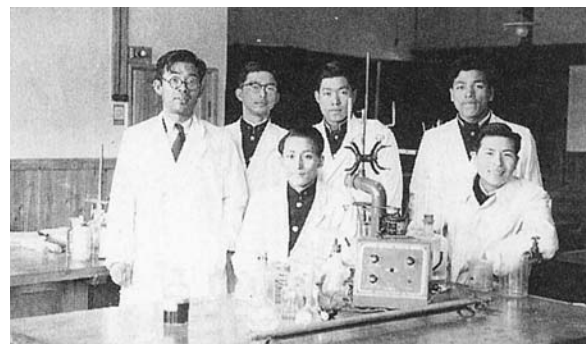
【トピックス内容紹介】

PHOTOGRAPHでは、昭和30年頃であろうか旧教養部化学教室に保管されていた昔の文理学部化学科のアルバム中から抜粋されています。

OHPやプロジェクターを使用することもなく卒論発表を行っている学生の写真が時代を感じさせ、印象的な一枚となっています。



OHPやVideoprojectorが無くても卒論発表はできた



物理化学実験

トピックス 佐賀大学創立50周年記念日まであと243日

【目次紹介】

- ・巻頭…佐賀大学楠葉同窓会会長 関本 優
「佐賀大学創立50周年記念日まであと243日」
- ・平成10年度総会・懇親会
- ・50周年記念事業速報
～楠葉の達成率55.6%、残り2,500万円
- ・支部からこんにちは…熊本支部 佐賀支部 福岡地区
- ・歌は流れる その39…大谷希幸 (30・法)
- ・第6回佐賀県青春寮歌祭の案内



「楠の葉の」を熱唱する実行委員

【トピックス内容紹介】

関本楠葉同窓会会長は、佐賀大学創立30周年を機に結成された本同窓会のこれまでの会員、役員の方の労を労うとともに、あと243日と迫っている創立50周年記念日へ向けた会館建設のための募金活動へ向け、熱心に協力を呼びかけられています。

菊葉（旧制佐高）の世話人の方のお話しとして「50周年を祝ってやれる母校があることは幸せですよ。僕たちには無いのですから、それでも80周年まではやらねばと思っています。」、母校への想いが伝わってくるとても印象的な言葉に感じられます。

トピックス PHOTOGRAPH～文理初期の化学教室～

【目次紹介】

- ・提言…株式会社中村電気製作所 代表取締役社長 中村敏郎
「佐賀大学は中小企業存続のカギ」
- ・ものを見る目が大きくなった一佐大公開講座に参加して一
- ・50周年記念事業速報～楠葉の達成率57.7%、残り2,062万円
- ・PHOTOGRAPH ～学内の記念碑～
- ・支部からこんにちは…鳥栖・三神支部
- ・なんでん塾の小旅行記 田中正和 (48・化学)
- ・理工学部同窓会の設立について
…理工学部同窓会検討委員会委員長百武英明
- ・わが母校 佐大の思い出 寺田孝之 (50・経済)
「屋台・自転車旅行・単位」
- ・歌は流れる その40…大谷希幸 (30・法)
- ・理工学部長交代 ～初の佐大出身学部長誕生～

【トピックス内容紹介】

PHOTOGRAPHでは、「学内の記念碑」と題して敷地内にあるいくつかのメモリアルが写真に収められています。

旧正門跡にある佐高の記念碑、不知火寮の跡に建てられた大学会館とそれを偲ぶ記念碑、そしてノーベル化学・平和両賞受賞者L. ポーリング博士来校記念植樹などです。

特に、記念樹については、学内でも知る人が少ないとの注釈がありますが、写真を見てもその場所さえピンとこないことが申し訳なくもあります。



正門跡：中から外を見た写真（現）



道路側から見た正門と本館のイラスト（旧）



L ノーベル化学・平和両賞受賞者
博士来校記念植樹

トピックス 青春のモニュメントを刻んだ時代

【目次紹介】

- ・ 提言 … (株) ヤマトヤ 代表取締役社長 江頭紘一
「佐賀大学に期待する」
- ・ 支部からこんにちは
…鹿児島支部 筑後支部 沖縄支部
- ・ 恩師の近況
- ・ わが母校 佐大の思い出 大谷希幸 (30・法) 「青春のモニュメントを刻んだ時代」
- ・ 50周年記念事業速報
～楠葉の達成率69.9%、残り1,468万円
- ・ 経済学部にも佐賀大学出身～古賀和文新学部長誕生～
- ・ 歌は流れる その41 … 大谷希幸 (30・法)
- ・ 募金活動奮闘記 総務担当常任理事 長 安六(44・経)

【トピックス内容紹介】

読売新聞社などで編集に携わられたフリーライターの大谷氏は学生時代を振り返り、「知慧と真理と友情の溢るる里」として不知火寮の寮風が青春の原点になったこと、活動家の友が退学処分になるもその後の人生において処分が二人を大きくしたことなど、さまざまなエピソードが軽快な文体で綴られています。

What to do「何をなすべきか」を指標に考え、学ぶ人生を歩む、そんな青春のモニュメントを刻んだ学生生活であったと締められています。

連載「歌は流れる」は、第99号において「その64」に達しています。

秋日を浴び、佐賀駅頭で不知火寮旗をかざし、巻頭言も高らかに第一回目の街頭ストーム (昭和26年11月8日)



不知火寮の過客たち。各室で輪読会が盛んだった。右、和服姿の蜜からが大谷氏。

トピックス 50周年記念事業速報—募金活動 2 億円の目標突破

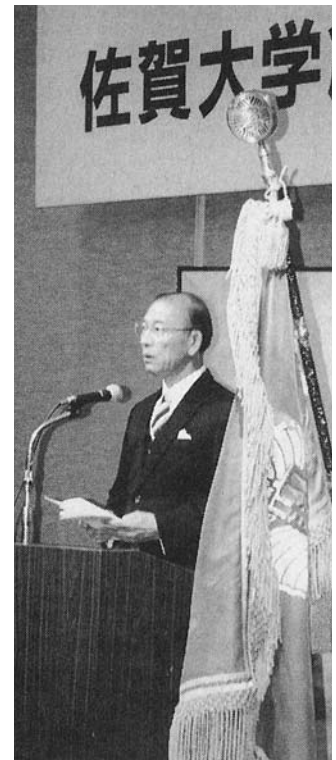
【目次紹介】

- ・ 平成11年度同窓会懇親会のご案内
実行委員長 椿 忠彦 (53・物理) 「帰って来んしゃい!! 佐賀へ」
- ・ 佐賀大学創立50周年の節目を迎え、佐賀大学同窓会組織が大幅に拡充
- ・ 新しい楠葉同窓会活動は どうなる?
- ・ 理工学部同窓会の設立について
—佐賀大学同窓会の下部組織として理工学部同窓会を設立—
- ・ 50周年記念事業速報
「募金活動 2 億円の目標額突破! ~記念式典・祝賀会盛會に挙行される~」
- ・ 歌は流れる その42 … 大谷希幸 (30・法)
- ・ 佐賀大学創立五十周年記念座談会開催

【トピックス内容紹介】

平成9年4月からスタートした佐賀大学50周年記念事業による募金活動は、無事目標額を達成し、平成11年5月29日ホテルニューオータニ佐賀にて「佐賀大学創立50周年記念行事」が開催されました。当日午後6時からは祝賀会が開かれ、同窓会会員130名を含む招待者500人が会場を埋め、盛大に50周年の節目を祝いました。

このとき当事業のメインとされました「創立50周年記念会館」が、現在の「夢の実会館」になります。



式典で式辞を述べる佐古宣道学長

トピックス 新会報『なんよう』

【目次紹介】

- ・巻頭 …広報委員長 梅崎正道
「新会報『なんよう』」
- ・楠葉同窓会会員くらぶ「まど」…
なかま募集、ちょっと一言、
近況報告、職場紹介、随筆
- ・住所等変更

【トピックス内容紹介】

1999年10月、20年の歳月を重ねてきた会報「なんよう」は、同年7月の総会において理工学部同窓会の分離独立が承認されたことを機会に、新たな編集部による陣容のもと、会報の内容を大幅に刷新することとなりました。

同窓会活動の案内や報告等は今後、佐賀大学同窓会会報「楠の葉」に、大学の動き等は「広報佐賀大学」にそれぞれ譲り、新「なんよう」は、文理・経済両学部の卒業生と在校生、教職員等の相互交流の場として位置付け、従来のシリーズものの他、「楠葉同窓会会員くらぶ『まど』」と題して、近況報告や職場紹介、随筆などを取り上げていくこととなりました。



チーフ
梅崎正道

文理学部経済専修
昭和33年入学



サブ
徳永進 (旧姓 宮田)

経済学部経済学科
昭和45年入学



サブ
江口邦子 (旧姓 山下)

経済学部経済学科
昭和48年入学

編集スタッフのプロフィール

トピックス 『有志の会』 2000年新春談話録

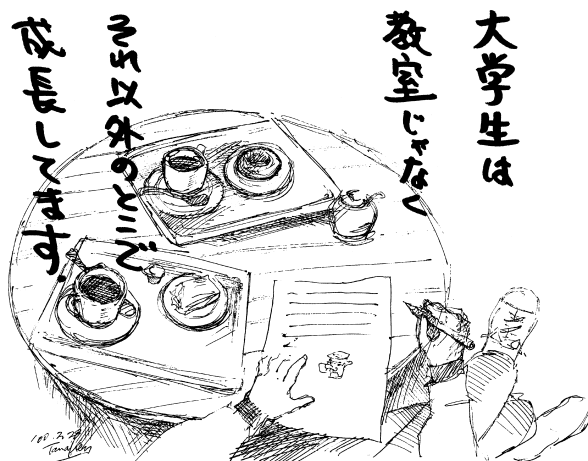
【目次紹介】

- ・「有志の会」2000年新春談話録
～母校・佐賀大学へ 一提案と注文～
- ・楠葉同窓会会員くらぶ「まど」…
近況報告、ちょっと一言、趣味の広場
- ・歌は流れる その43 … 大谷希幸 (30・法)

【トピックス内容紹介】

「有志の会」は、佐賀市近郊に在住する佐賀大学OBの会で、年4回市内で懇談の場を設けられており、2000年の節目に母校佐賀大学を取り上げ、その時の談話録を紹介しています。

談話の中では、地域に密着した大学であるためにも地域を研究テーマに取り入れてほしい、時代のニーズを捉えながらチャレンジする教師が必要、大学全体として就職支援体制の強化が必要などの意見が収載されています。



文化教育学部 美術工芸課程 デザイン専攻
田中健一

トピックス 「クリエイティブ21」が発足

【目次紹介】

- ・ 経済学部後援会役員の方々からのアンケート
～私達の佐賀大学へ—要望と提案—
- ・ 楠葉同窓会会員くらぶ「まど」…
近況報告、ちょっと一言、趣味の広場
- ・ 佐賀大学同窓会主催の懇話会「クリエイティブ21
～21世紀の佐賀大学を考える～」が発足
- ・ 歌は流れる その44 … 大谷希幸 (30・法)
- ・ 住所等変更

【トピックス内容紹介】

2000年9月28日、「菱の実会館」の多目的室において、佐賀大学同窓会が主催する懇話会「クリエイティブ21～21世紀の佐賀大学を考える～」の第1回例会が佐賀大学内外から50人の参加を得て開催されました。

1回目は、佐古宣道佐賀大学長による「佐賀大学が抱える当面の問題」と題した講話があり、その内容について質問と意見交換が行われました。この中で、佐古学長は、「知の時代」といわれる21世紀に対応して、

知識、知見、知恵のある「知域キャンパス」構想を掲げられています。



経済学部後援会役員の方々からのアンケート

私達の佐賀大学へ —要望と提案—

トピックス 楠葉同窓会会員くらぶ『まど』

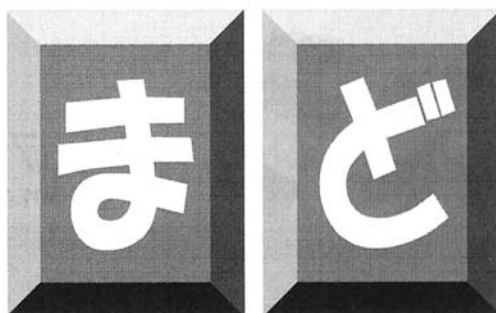
【目次紹介】

- ・ 平成13年度総会・懇親会のご案内
- ・ 楠葉同窓会会員くらぶ「まど」…近況報告、伝言板
- ・ 歌は流れる その45 … 大谷希幸 (30・法)
- ・ 編集後記 …梅崎正道 (33入・経済)

【トピックス内容紹介】

シリーズ「楠葉同窓会会員くらぶ『まど』」は、71号から始まった新しいコーナーで、ここでは、卒業された方々からの近況報告や趣味、伝言板、ちょっと一言など、「なんよう」宛てに投稿された様々な声を掲載しています。

家を建てたこと、子どもが誕生したこと、東京から福岡へ引っ越してきたことなど日常的なエピソードが短い文体で紹介されており、会員の方々の交流の場としての役割を果たしています。



トピックス 21世紀の佐賀大学について

【目次紹介】

- ・提言 … (株) 佐電工 代表取締役会長 杉町誠二郎
「21世紀の佐賀大学について」
- ・楠葉同窓会会員くらぶ「まど」…近況報告、
ちょっと一言、伝言板、趣味の広場、職場の紹介
- ・佐大生、かく戦えり …
稗田重徳 (S33入、文理・法律)
「組織と言う温室からの解放こそ人生の道場」
- ・歌は流れる その46 … 大谷希幸 (30・法)

【トピックス内容紹介】

杉町氏は、佐賀大学の現状を捉えるため「佐賀大学コミュニティ・キャンパス研究会」の懇談会のメンバーである井本佐賀県知事、木下佐賀市長、指山佐賀銀行頭取、佐古学長ともに、構内を視察したときの印象を交えて佐賀大学への提言をされています。

一つは、学生や大学が21世紀へ向けて特徴や特色ある存在になること、また、高齢者大学のような人が生きていく過程における人の生き方などの地道な研究も大切にする事、アジアへの玄関口を広げ多くの留学生を受け入れ国際課をもっと進めることなどを挙げられています。

提言 21世紀の佐賀大学について

(株)佐電工 代表取締役会長 杉町 誠二郎



トピックス まど 楠葉同窓会会員くらぶ

【目次紹介】

- ・平成14年度総会・懇親会案内 実行委員長 蒲原晃嗣
- ・まど 楠葉同窓会会員くらぶ
- ・夢-限りなき挑戦・・・梅崎正道 (30・経)
- ・首都行政の中枢で活躍
故萩野さん、追悼集が出る
永末哲人 (40・法) 佐野博之 (40・法)
江口充治 (41・法)
- ・歌は流れる その47・・・大谷希幸 (30・法)

【トピックス内容紹介】

76号は全国各地にお住まいの、同窓会会員からの投稿が紹介されています。

「近況報告」では高橋千華子さん (H4・経)、桃崎悟さん (28・経)、池田八太郎さん (26・経)、馬場悟さん (H6・経)、仲道浩治さん (38・経) がご自身の近況を報告されました。「ちょっと一言」では力丸勝海さん (24・法)、磯貝英広さん (46・経)、木村雅彦さん (24・法)、大谷希幸さん (24・法) が現役

学生への激励、学生時代に思い出話、なんよう掲載文への反論等、様々な投稿を頂きました。同窓会会員の皆様、現在のなんようへのご投稿もお待ちしています。

近況報告

◆ 高橋千華子 (H4入、経済・経済)

先日、学生時代の友人と話す機会があり、もう10年近く経ったのだと、時の流れの速さを感じずにはいられませんでした。仲間との同窓会にも出席したいと思うのですが、昨年末二人目の子供も生まれ、家事と育児に、てんでこまいの日々で、あきらめざるを得ない状況です。北海道という慣れない生活の中、周りに知り合いもなく心細い日々を送り、九州を懐かしく思うものの、距離の遠さゆえちょっと帰るといふわけにもいきません。父から“唐津くんち”のビデオを

ちょっと一言

◆ 力丸 勝海 (S24入、文理・法律)

今年の夏から日本棋院鳥栖支部長に就任。仕事も定年のない自営業で多忙で好調です。毎日仕事と囲碁と勉強で時間が足りません。
他大学では在学中から資格試験準備のため積極的に各種予備校との接触を教授が奨励して、卒業時には各資格を取得しているようです。このことは就職にもプラス、将来の独立も可能です(例、九大法学部等)。翻って佐大では左様な話は全く聞きません。卒業生の就職率向上のため

トピックス 提言

【目次紹介】

- ・ 提言・・・中心商店街地域を「コミュニティタウン」として再生！
- ・ まど 楠葉同窓会会員くらぶ
- ・ 佐大 OB のチャレンジ
～世界8000m 峰14座の展望トレッキングに挑戦
百武英明 (37・経)
- ・ 平成14年度 総会・懇親会開催報告
- ・ 出版紹介～大野省治氏「軍事裁判と教授会」自費出版、プレメディカル出の辻さん文集を出版、長 安六著「地域農業再生の論理－佐賀農業における実証的研究－」

【トピックス内容紹介】

『佐賀大学は平成14年4月に「地域貢献推進室」を開設し、文部科学省の助成を受けて、“佐賀県内のどこでも、いつでも大学の顔が見えるコミュニティネットの核、佐賀大学”を基本」コンセプトに、具体的な地域貢献プロジェクトに着手しました。』という内容です。現在の佐賀市中心街は公共機関の移設が行われており少しずつですがにぎやかさが戻ってきたように感じます。

提言

中心商店街地域を「コミュニティタウン」として再生！

地域とともにある佐賀大学づくりに、多くの英知の結集を！

佐賀大学まちづくりサテライト「ゆつつら〜と館」館長 長 安 六

佐賀大学は平成14年4月に「地域貢献推進室」を開設し、文部科学省の助成を受けて、“佐賀県内のどこでも、いつでも大学の顔が見えるコミュニティネットの核、佐賀大学”を基本コンセ

- ①サテライトでは、市民や店主、行政関係者等の参加を得て「まちづくり懇話会」や「まちづくり市民講座」を開催します。
- ②「テレビ会議システム」により、このような

トピックス まど 楠葉同窓会会員くらぶ

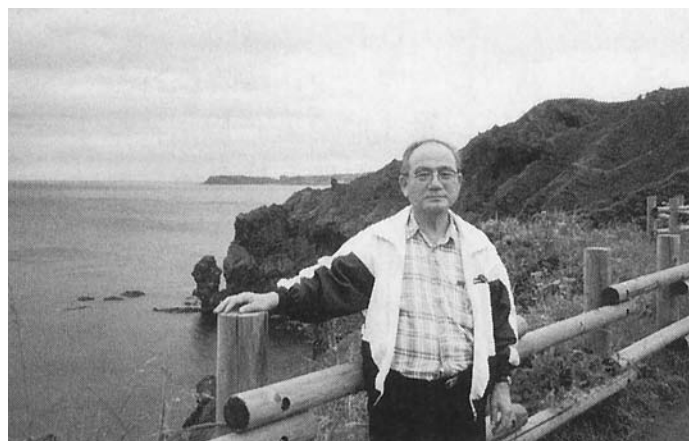
【目次紹介】

- ・ 平成15年度総会・懇親会案内
実行委員長 笠原正博
- ・ まど 楠葉同窓会会員くらぶ
- ・ 住所等変更 (H15. 2. 28受付まで)
- ・ 歌は流れる その49
大谷希幸 (30・法)
- ・ 佐大 OB かく戦えり
サラリーマン人生あれこれ
林 利幸 (33・法)

【トピックス内容紹介】

「ちょっと一言」では大谷希幸さんから農学部卒業生の伊藤修一さん (S57卒) と八木義明さん (S59卒) のお二人が司法書士試験に合格した快挙を紹介した投稿を頂きました。

一方、78号の投稿はこの1通だけで、編集部から『なんよう』に期待する企画についてアイデアの提供を呼び掛けています。いつの時代も紙面の編集には苦労している様子がうかがえます。



北海道・礼文島にて

トピックス 楠葉同窓会懇親会への想い

【目次紹介】

- ・「楠葉同窓会懇親会への想い」
楠葉同窓会理事（組織担当）折原高宏
- ・まど 楠葉同窓会会員くらぶ
- ・編集部から ご自慢の一品を載せませんか！
- ・平成15年度 総会・懇親会開催報告
- ・大石政隆さん視覚障害にめげず出版
大谷希幸（30・法）
- ・住所等変更（H15. 8. 31受付まで）

【トピックス内容紹介】

この年の楠葉同窓会懇親会は統一地方選等の関係で総会後の開催ができず、時期をずらし7月12日に開催されています。この年はNPOへ委託して懇親会始まって以来初めて託児所を開設し子育て中の会員の出席をうながすとともに、若年層や年金世代に配慮し会費の引き下げを実施されています。この懇親会出席者を増やす取組みは現在でも参考になるものだと感じました。



大石政隆さんと好評の書

「人生ふさぎこんじやおしまいよ」

トピックス まど 楠葉同窓会会員くらぶ

【目次紹介】

- ・平成16年度総会・懇親会案内
- ・まど 楠葉同窓会会員くらぶ
- ・歌は流れる その49 大谷希幸（30・法）

【トピックス内容紹介】

この年の実行委員は昭和53年度、63年度の入学生が担当しています。前年の10月に佐賀医科大学と統合し、同年4月からは国から独立した組織である国立大学法人へ移行しています。大学が大きく変わり始めた年の懇親会で実行委員の意気込みが感じられる案内となっています。

平成16年度懇親会を7月10日開催!!

実行委員は昭和53年度、63年度の入学生

新緑が目染みる薫風香る好季節になりました。楠葉同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝で各地においてご活躍のこととお喜び申し上げます。

ところで、最近の内外の情勢を見ても、いくらか明るい兆しも出てきているようですが、依然として国内経済は低迷を続けており、イラク情勢も交戦状態が収まることなく、頻発する世界的なテロの脅威にさらされている状況が引き続いております。

このような中、急速な少子高齢化や情報化、国際化等により、従来のシステムが通用せず、新しく柔軟な社会経済システムを構築していくことが急務となっています。

われらが母校佐賀大学においても、昨年10月に佐賀医科大学との統合がなされました。文化教育学部、経済学部、医学部、理工学部、農学部の5学部からなる、21世紀にふさわしい総合大学として新たな誕生をみています。

また、この4月からは、国から独立した組織である国立大学法人に移行しています。国や企

業から研究資金を獲得するなど経営基盤の安定化に努め、厳しい改革に取り組んでいく必要があります。中国や韓国などアジアを視野に入れた国際学部の新設構想もあるようですし、今後の新たな発展が大きく期待されるところで、さて、恒例の平成16年度楠葉同窓会懇親会につきましては、来る7月10日(日)、はぐれ荘において開催の予定です。

今年、昭和53年度と63年度の入学生が中心となってお話させていただきます。皆様にとって「また一つ思い出ができたなァ!」という、記念すべき再会の場となりますよう、私も実行委員一同、一所懸命お世話させていただきますので、同窓会の皆様多数のご出席をよろしくお願ひします。

平成16年度 佐賀大学 楠葉同窓会パーティ

とき/2004年7月10日(日) 18:30~
ところ/はぐれ荘(佐賀市天神2-1-36)

平成16年度「楠葉同窓会」総会

5月29日(日)「佐嘉神社記念館」で開催

佐賀大学楠葉同窓会の総会(代議員会)を開催いたします。

日時 平成16年5月29日(日)
16:00~

会場 佐嘉神社記念館(佐賀市松原町)

各支部代議員の全員参加をお待ちしております。

なお、同窓生全員の懇親会につきましては、昭和53年・63年入学の皆さんを中心に、7月10日(日)の開催に向けて準備が進められております。

トピックス 110名が集い、なごやかに懇親会

【目次紹介】

- ・青春を懐しみ近況を語り合う
「110名が集い、なごやかに懇親会」 百武英明理事
- ・まど 楠葉同窓会会員くらぶ
- ・平成16年度 総会・懇親会開催報告
- ・追悼 棺を前に「寮を去る日に」を歌う
中尾玲二 (24・法)
高竹諒さん、宮崎千里さんを偲んで
- ・歌は流れる その51 大谷希幸 (30・法)

【トピックス内容紹介】

平成16年度の楠葉同窓会懇親会は7月10日に開催され、110名と例年より多くの方が集ってくださったようです。懇親会はそれまで入学年次ごとの当番による実行委員会方式でしたが、この年は楠葉同窓会本部が取組んでいます。数年前より実行委員会づくりが難航した結果の措置のようですが、実行委員の年代は、各

職場でもっとも責任の重い年代でもあるため、いつの時代でも実行委員会づくりは苦勞されているようです。



青春を懐しみ
近況を語り合う

トピックス 同窓会のまど

【目次紹介】

- ・平成17年度総会・懇親会案内
- ・同窓会のまど 福岡近郊在住
(昭)41年卒生が同期会ひらく 白石豊彦 (37・経)
- ・ちょっと一言・・・近況報告 楠田幹人 (37・法)
- ・「佐賀大学の昔を語ろう会」の集い
中村靖之 (27・法)
- ・「葉隠」に寄するの記 谷本親史 (33・国)
- ・自己紹介並びに近況報告 平岡茂富美 (41・経)

【トピックス内容紹介】

福岡市近郊在住の昭和41年卒生の同期会が開催されたことが紹介されています。卒業から40年を経過してもなお大勢の同期生が定期的集まる（この回は名簿登録会員40名中16名が参加）ことが出来るのは昭和41卒生の強いがあってこそだと思います。今でも多くの同期生が集まっていっしょなことだと思います。



トピックス 会員拡大とHPの充実を重点に

【目次紹介】

- ・ごあいさつ 会員拡大とHPの充実を重点に 楠葉同窓会 会長 久間善郎
- ・今年度の各担当重点事業
 - 総務担当～若手リーダーの発掘 名簿担当～個人情報保護との両立
 - 組織担当～懇親会に若手の参加を 情報担当～沢山の喜びをご紹介します
 - 会報担当～皆さんの投稿が命
- ・平成17年度 総会・懇親会開催報告
- ・最近の就職事情で意見交わす 経済学部と楠葉同窓会
- ・近況報告 仲道浩治 (38・法)
- ・笹野純一君を悼む 隈河培男 (28・法)
- ・佐賀大学同窓会提供講座 楠葉同窓会 OB 3人が講師に
 - 平岡茂富美氏 (41・経) テーマ：キャリアデザインとは
 - 関本 優氏 (29・経) テーマ：提供講座の開講にあたって
 - 副島昭十朗氏 (29・法) テーマ：実業界で働く先輩に聞く

【トピックス内容紹介】

楠葉同窓会の久間会長が、同窓会の重点的な取組みとして、会員の拡大とホームページの充実の2点をあげられています。現在でも同窓会を活性化させるためには必要不可欠な項目です。

ごあいさつ

会員拡大とHPの充実を重点に

佐賀大学楠葉同窓会 会長 久間善郎



トピックス 同窓会のまど

【目次紹介】

- ・平成18年度総会・懇親会案内
- ・同窓会のまど 筑後地区県立学校佐 OB「葉隠会」
 - 松葉萬藏 (35・化)
- ・自己紹介並びに近況報告 宮地博樹 (52・経)
- ・佐賀大学同窓会鳥栖・三支部長
 - 小柳義弘君の死をを悼む 田中幸男 (24・化)
- ・裸ん行に参加して 梅崎正道 (33・経)
- ・佐賀支部総会・懇親会を開催

【トピックス内容紹介】

「葉隠会」とは佐大文理学部以外の学部の卒業生も一緒に福岡県立学校に勤務された方と勤務されている方の集まりのことです。現職、退職の校長先生、教頭先生や中堅の教職員32名で構成され、1月の第二土曜日に久留米市内で会が催されているそうです。先輩の先生から後輩の先生へアドバイスがあるなど有意義な会が行われているそうです。



トピックス 経済学部と楠葉同窓会との意見交換会

【目次紹介】

- ・ 経済学部と楠葉同窓会との意見交換会 就職援助活動に大学と同窓会の連携強化を 徳永 進 (45・経)
- ・ 今年度の各担当重点事業
- ・ 平成18年度懇親会風景 松尾和俊 (58・経)
- ・ 平成18年度 総会開催報告
- ・ ゼミナールの紹介第1回 濱内ゼミ
- ・ 近況報告 江口邦子 (52・経)
- ・ ホームページをご利用ください 坂本裕三 (62・管)

【トピックス内容紹介】

佐賀大学経済学部と楠葉同窓会との連携を深めようと意見交換会が開催されました。学部からは納富学部長他4名、同窓会からは梅崎会長他5名が出席し、経済学部の就職率(88%)が5学部中低くなっている問題を中心に活発な意見交換が行われました。就職率向上のために学部では同窓会と協力してインターンシップ、業界セミナー、キャリアデザイン講座など様々な活動を実施し、OBが学生にとって頼りがいのある存在となっていることが報告されています。



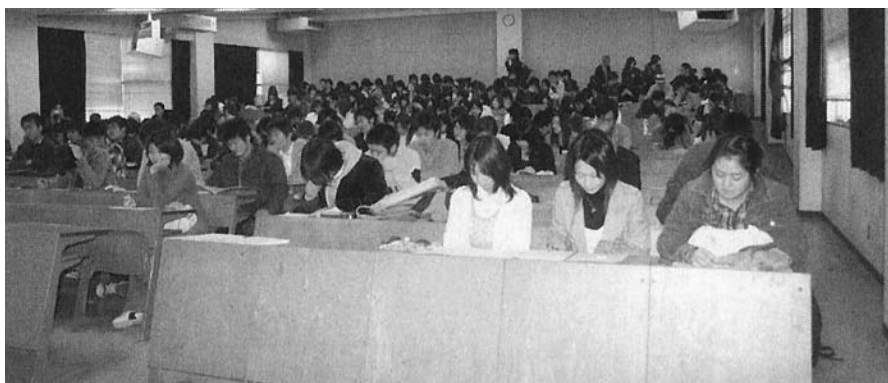
トピックス キャリアデザインの講義を終えて

【目次紹介】

- ・ 平成19年度総会・懇親会案内
- ・ キャリアデザインの講義を終えて
1日1日を「ど真剣」に生きよ 白井 寛 (30・法)
自分の道を切りひらこう 梅崎正道 (33・経)
- ・ ゼミナールの紹介第2回 山本長次ゼミ
- ・ 近況報告 徳永 進 (45・経)

【トピックス内容紹介】

平成18年度のキャリアデザイン講座の講師を務められたお二人が感想を寄稿されています。白井氏は厳しい競争に勝ち抜くためには志を立て、その道のプロを目指して、失敗にも挫けず、たくましく乗り越えて行く「耐性」が必要であると述べられ、1日1日を「ど真剣」に生きて貰いたいとエールを送られています。梅崎氏は今の学生に期待する事として人生設計(キャリアデザイン)を自分で選べる幸せを自覚して、他人が選び採った跡の残りを甘んじて享けるのではなく、何事も率先して選択し自分の道を切りひらいて欲しいと述べられています。



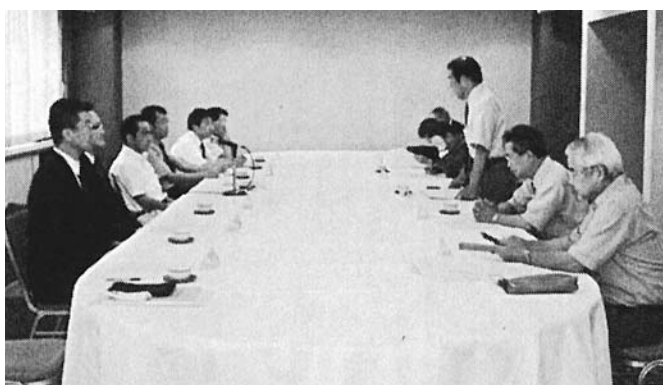
トピックス 経済学部と楠葉同窓会との意見交換会

【目次紹介】

- ・今年も盛大に懇親会開催 平成19年度懇親会報告
坂本裕三 (62・管)
- ・経済学部と楠葉同窓会との意見交換会
江口邦子 (48・経)
- ・歌は流れる その52 大谷希幸 (30・法)
- ・平成19年度 総会開催報告
- ・ゼミナールの紹介第3回 長ゼミ
- ・ヘプバーンの恋の運河を訪ねる
ヴェネツィアの旅 白井 寛 (30・法)

【トピックス内容紹介】

前年に引き続き、佐賀大学経済学部と楠葉同窓会との意見交換会が開催されました。経済学部からは納富学部長他6名、同窓会からは梅崎会長他7名が出席し、納富学部長から経済学部の現状説明が行われました。続いて、経済学部生の就職に関し、就職率の向上とOBと学生のつながり＝緊密な情報交換が可能な network が必要であるとの意見が出されました。



トピックス ゼミナール紹介

【目次紹介】

- ・平成20年度総会・懇親会案内
- ・ゼミナールの紹介第4回 納富ゼミ
- ・歌は流れる その53 大谷希幸 (30・法)
- ・大石政隆さん二冊目を出版 白木勇三郎 (27・法)
- ・ヘプバーンの恋の運河を訪ねる
ヴェネツィアの旅 白井 寛 (30・法)
- ・近況報告 百武英明 (37・経)

【トピックス内容紹介】

今号ではゼミナール紹介として納富ゼミが紹介されています。実は私（坂本裕三62・管）自身が納富ゼミ出身であるためトピックスに紹介させていただきました。紹介のなかに「学生数3名の少数ながら・・・」という内容がありますが、当時も私も含めて学生数5人の少人数ゼミで、財政学というお堅いイメージからか人気のあるゼミではありませんでした。正直言いま

すと勉強した記憶はあまり無いのですが、先生が挽いてくださったコーヒーがとても美味しく、ゼミのたびに楽しみにしていた記憶があります。先生ありがとうございました。いつまでもお元気でご活躍ください。



トピックス 平成20年度総会・懇親会を振り返って

【目次紹介】

- ・平成20年度総会・懇親会を振り返って
来年は雨期を避けて5月9日に開催
徳永 進 (45・経)
- ・ゼミナールの紹介第5回 岩本ゼミ
- ・ヘプバーンの恋の運河を訪ねる
ヴェネツィアの旅 白井 寛 (30・法)
- ・平成20年度 総会開催報告
- ・歌は流れる その54 大谷希幸 (30・法)
- ・近況報告 坂本裕三 (62・管)
- ・佐賀大学東京オフィスの紹介



【トピックス内容紹介】

平成20年度の総会・懇親会を振り返り、今後に向けて3点の課題（開催時期、懇親会のアトラクション、懇親会の参加者確保および収支）について検討しました。開催時期については、例年6月の土曜日に開催してきましたが、平成20年度が梅雨の豪雨で多数の欠席者を出してしまったため、次年度から5月に開催することとしました。アトラクションについては恒例の「ビンゴゲーム」に加えて更なる盛り上がり期待できるものを検討することとしました。参加者の確保および収支については、パーティー券購入者の参加を増やすこと（20年度は購入者の38%が参加）と収支がマイナスになっている現状を改善させることを今後の重点項目にしていくこととしました。このことについては、6年経過した今でも課題として残っていますので、改善策について同窓生の皆様のアイデアを是非お寄せいただければと思います。

トピックス 同窓会が校友会の正会員に

【目次紹介】

- ・平成21年度総会・懇親会案内
- ・ゼミナールの紹介第6回 富田ゼミ
- ・近況報告 白石豊彦 (37・経)
- ・田中幸男顧問を偲ぶ
- ・歌は流れる その55 大谷希幸 (30・法)
- ・同窓会が校友会の正会員に



富田ゼミ

【トピックス内容紹介】

「佐賀大学校友会」が平成20年4月1日に設立され、会則の改正により平成20年12月2日に佐賀大学同窓会が校友会の正会員になりました。それによって楠葉同窓会も校友会の正会員となりました。校友会の目的は、佐賀大学憲章に掲げてある目的及び使命の達成を支援し、佐賀大学の発展に寄与するとともに、校友会会員の親睦を図ることとされています。以来、楠葉同窓会も校友会の活動に参加し、同窓会の立場から佐賀大学の未来を支え続けていると自負しています。



近況報告：「葉隠会」新年例会開催

トピックス ワーキンググループを設置

【目次紹介】

- ・102名が集い盛大に懇親会開催
平成21年度総会・懇親会報告
- ・21年度役員会報告
- ・佐賀大学楠葉同窓会役員名簿（H21. 4. ～H23. 3）
- ・ゼミナールの紹介第7回 山下ゼミ
- ・歌は流れる その56 大谷希幸（30・法）
- ・「同窓会のあり方」を検討するワーキンググループを設置

【トピックス内容紹介】

平成21年度の総会において年度事業として、同窓会のあり方を検討するワーキンググループを設置することが承認されました。役員の中から6名が選任され、①楠葉同窓会の総会・懇親会のあり方、②支部の組織強化、③名簿の管理と発行、④会報の発行、⑤役員の世界交代、⑥佐賀大学や佐賀大学同窓会との関係の6項目について具体的な検討が行われるとになりました。



トピックス 『なんよう』がA4判カラーになりました

【目次紹介】

- ・平成22年度総会・懇親会案内
- ・ゼミナールの紹介第8回 平地ゼミ
- ・立石誠一郎君を偲ぶ 西川 末実（49・経）
- ・2011年版会員名簿発行準備始まる。
- ・歌は流れる その57 大谷希幸（30・法）
- ・近況報告 鹿児島支部総会報告 江口邦子（48・経）

【トピックス内容紹介】

掲載内容の紹介ではないのですが、今号より「なんよう」をリニューアルしました。サイズをA4判に変更することで文字が大きくなりました。更に表紙面、裏表紙面をカラーにしてより見やすくなりました。それによって、鮮明な写真が掲載出来るようになり、特に表紙上部に載せた佐賀のシンボルツリーである楠の木は鮮やかな緑がとても綺麗で、佐賀県外にお住まいの同窓生に皆さんは、この表紙を見て、佐賀の風景を思い出されているのではないのでしょうか。



トピックス 卒業生を迎えてキャリアデザイン講座を開催

【目次紹介】

- ・卒業生を迎えてキャリアデザイン講座を開催
- ・今年も盛大に懇親会開催
平成22年度総会・懇親会報告
- ・飯塚先生を偲んで
- ・歌は流れる その58 大谷希幸 (30・法)
- ・近況報告 諫早支部総会報告 梅崎正道 (33・経)

【トピックス内容紹介】

平成17年度から大学と同窓会の共催で、全学部の2～3年生を対象に実施しているキャリアデザイン（自分発見）講座が開催され、経済学部卒業生からは平成20年卒の原さん（西日本シティ銀行）と、古川さん（大和証券）のお二人に担当していただきました。お二人とも約300人の学生に対し、主に就職活動の心構えを経験談をもとに分かり易くアドバイスされています。この講座は学生たちの関心が高く、今後の参考にしようと熱心に先輩の話に聞き入っている様子が報告されています。

**卒業生を迎えて
キャリアデザイン講座を開催**



トピックス 楠葉同窓会のブログを開設

【目次紹介】

- ・平成23年度総会・懇親会案内
- ・佐賀共栄銀行支部の結成ならびに支部総会・懇親会の開催
- ・歌は流れる その59 大谷希幸 (30・法)
- ・退職にあたって 時井 直
- ・ワーキンググループ「組織再生・同窓会のあり方」検討会報告
- ・楠葉同窓会のブログを開設!!
- ・ベスピオ山（ボンベイ）大噴火の感慨 白井 寛 (30・法)
- ・近況報告「昭和46年経済学部入学同窓会」の開催 井田

【トピックス内容紹介】

同窓会のブログ開設を紹介しています。ブログの開設は以前より、その必要性が役員会等で議論されていて、情報担当役員の努力で平成23年度よりスタートしました。パソコン、携帯でも見ることができ、場所や時間を気にせずに同窓会や大学の最新の情報を確認できます。更に同窓生が直接ブログに活動状況、意見、なんようの原稿などを投稿することができ、双方向の情報発信のツールとして大いに活用が期待されています。今後も皆さんからのたくさんの投稿をお待ちしています。



トピックス 新会長のご挨拶

【目次紹介】

- ・113名が集いなごやかに懇親会開催
平成23年度懇親会報告
- ・新会長のご挨拶
- ・佐賀大学楠葉同窓会役員名簿（H23.～H25）
- ・平成23年度総会報告
- ・ゼミナールの紹介第9回 小川哲彦ゼミ
- ・歌は流れる その60 大谷希幸（30・法）
- ・わが思い出の記 岡本 昭（26・法）

【トピックス内容紹介】

この年5月28日に開催された平成23年度総会で、石丸 新さん（40・法）が新しい楠葉同窓会会長に選任され抱負を述べてられています。先輩後輩が親しめる身近な同窓会組織をつくるための名簿発行、ブログによる積極的な情報発信、支部活動の強化を目標に掲げて、現在でも石丸会長のもと役員一同精一杯頑張っています。



石丸 新



トピックス 卒業生を迎えてのキャリアデザイン

【目次紹介】

- ・平成24年度総会・懇親会案内
- ・卒業生を迎えてのキャリアデザイン
石丸 新氏（40・法）、泉 朋良（H4・経）
- ・退職にあたって 長 安六
- ・卒業生紹介 学生生活を振り返って
経済学部4年 宮寄一郎
- ・リタイア後の地域生活を訪ねて 佐賀市循誘公民館長
坂井袈裟宜（40・経）
- ・会員のみなさんの声をお聞かせください
- ・ゼミナールの紹介第10回 羽石寛志ゼミ
- ・歌は流れる その61 大谷希幸（30・法）
- ・山崎 武顧問を偲ぶ 関本 優（29・経）

**卒業生を
迎えての
キャリアデザイン**



会長 石丸 新氏
(文理・法 40入)

【トピックス内容紹介】

平成23年度のキャリアデザイン講座の講師を務められたお二人が感想を寄稿されています。石丸氏は在学生に、出会いについて、心を磨くこと、したい事を見つけて懸命に取り組むこと、相手の話を客観的に理解すること、人生のチャンスをつかまえること、の5点について講義をされました。泉氏は企業が求めている人材について、自分で考えて行動する人、企業の成長と自分の成長のベクトルを合わせる人、であると述べられました。



**キャリアデザインの
講義を終えて**

泉 朋良氏
(経済・経済 H4入)

トピックス 2013年10月佐賀大学美術館オープン

【目次紹介】

- ・平成24年度懇親会大いに盛り上がる
山村隆介 (56・経)
- ・新学部長挨拶 経済学部長 平地一郎
- ・2013年10月佐賀大学美術館オープン
- ・平成24年度総会報告
- ・「真鍋名誉教授を偲ぶ会」開催 池松美澄 (39・法)
- ・歌は流れる その62 大谷希幸 (30・法)
- ・ペンネームは「大賀経佐」 高崎康史 (48・経)
- ・編集後記 釘本 勁 (40・法)

【トピックス内容紹介】

今号では、旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合10周年記念事業として、国立の総合大学では全国初となる大学美術館を平成25年10月に設置することが決定したと紹介されています。また、経済学部新学部長の平地先生からは、平成25年度から経済学部が、経済学科、経営学科、経済法学科という新しい構成になることも紹介されています。平成25年度は大学にとっても学部にとっても新しい時代の幕開けとなる記念すべき年になりました。



平地一郎学部長



トピックス 佐賀大学&経済学部スナップ

【目次紹介】

- ・平成25年度総会・懇親会案内
- ・卒業生を迎えてのキャリアデザイン講座を開催
村上直己氏 (61・経)、堀田 潤 (H13・営・法)
- ・佐賀大学&経済学部スナップ
- ・「初心忘るべからず」～ともしびプロジェクトを経験して～
経済学部経済システム課程3年 原川莉果
- ・これも何かの縁という話 山村隆介 (56・経)
- ・ゼミナールの紹介第11回 森周子ゼミ
経済学部経済システム課程3年 森みずほ
- ・歌は流れる その63 大谷希幸 (30・法)
- ・北九州支部総会を久しぶりに開催して 橋本朋雄 (40・経)
- ・編集後記 山村隆介 (56・経)

【トピックス内容紹介】

現在の学内の風景が紹介されています。とても懐かしく写真を見ていたら当時の出来事が鮮明に蘇ってきました。特に正門からみたメインストリートの風景は20数年前と全く変わらず時間が止まっているように感じました。先日、久しぶりに正門から学内に入ったのですが、図書館の建設と同時に正門周辺が大変綺麗になり驚きました。皆さんも機会があれば是非学内を散策されてはいかがでしょうか。(特に早朝の散歩がお薦めだと大先輩から聞きました。)



トピックス 佐賀大学美術館オープン

【目次紹介】

- ・平成25年度懇親会開催
- ・佐賀大学美術館オープン
- ・平成25年度事業計画、総会報告
- ・佐賀大学楠葉同窓会 役員名簿 (H25～H26)
- ・平成25年度総会を開催
- ・歌は流れる その64 大谷希幸(30・法)
- ・佐賀今昔 釘本 勁 (40・法)
- ・編集後記 坂本裕三 (62・管)

【トピックス内容紹介】

今号では、予てより建設中であった佐賀大学美術館が完成し「SUAM」として、平成25年10月2日より一般公開が始まったことが紹介されています。地域の方々に親しんで頂けるよう展示スペース、カフェ、スタジオを完備した立派な施設です。開館時間は10時～17時で毎週月曜日が休館日となっていますので、週末に作品を鑑賞してカフェで一服されてはいかがでしょうか。また、総会報告では、楠葉同窓会から800万円の寄付が行われたことも紹介されています。



佐賀大学美術館
SUAM
THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM



佐賀大学歴史写真館





佐高最後の街頭ストーム
貫通道路から松原神社に入ったところで
佐高創立記念祭(5/15~5/18)の一つとして
S23. 5.15



不知火寮で巻頭言の発声練習
左から西口、金石(故人)、浦川、大谷、柴田、西隈
(故人)、海辺、井上
S26. 5



ノーベル物理学賞を受賞された湯川秀樹博士講演 S26. 6



昭和26年 第1回佐大祭 教育学部ホールでの文理教育合同コンパ
中央の演壇は文理学部のストーム。右に教育学部の女子学生の姿もみえる。
S26. 10. 10



第1回街頭ストーム S26. 11. 8



文化祭の席卷—街頭ストーム—
県庁前お堀端の貫通道路で
S27. 11. 6



街頭ストーム隊 通用門出発 S27. 11. 6



昭和27年11月の第2回佐大祭 最終日
消防車が火事と間ちがえて馳けつけた
S27.11.9



法学研究科生による第一回模擬裁判—強殺事件判決公判—
〈28.11.1 文化祭行事の一環として生物教室〉

陪席判事 2回生 滝川一昭、3回生 松尾只二、裁判長 大谷希幸
検事 3回生 松村和昌、弁護人 野田和明、4回生 足立昭二
被告人 3回生 山下久二、証人 清和高校の演劇部学生
前列に高校生の坊主刈り頭の傍聴が目立つ。



大正10年2月 新設された旧制佐賀高校時代以来、22年の年輪をきざんだ文理学部の本校舎
正面玄関口の姫小松は大正14年第3回卒業生による記念樹
S30.3



佐賀大学開学30周年記念パーティ 昭和54年



学祭で市中を行くみこし
昭和62年



雪景色のキャンパス
パス（正門前）
昭和59年



第三回佐賀県青春寮歌祭
H 7.12.2



佐賀大学創立50周年記念
「菱の実会館」落成祝賀会
H12. 5.27



不知火寮跡に建てられた大学会館
中には学生食堂や生協の売店など
がある (1999年卒業アルバムより転載)



平成14年当時の経済学部校舎
(2002年卒業アルバムより転載)



卒業式風景

(1998年卒業アルバムより転載)



大勢の学生が行きかうメイン
ストリート
(1997年卒業アルバムより転載)



正門 (右) 佐賀大学美術館 (H26. 8月現在)



創立当時の正門付近、右手奥に美術館 (H26. 8月現在)



H26年4月に改修工事を終えた経済学部棟1号館

あとがき



右から編集員 松尾和俊、坂本裕三、釘本 勁、
楠葉同窓会事務局 篠崎萬佐恵
編集員 山村隆介

1979年4月に創刊されました佐賀大学楠葉同窓会会報「なんよう」も今回で節目の100号をむかえ、こうして記念号を無事発行できることに安堵しております。

記念号の発行に際しましては、学長はじめ楠葉同窓会の役員や実行委員歴任者、各支部の方々及び会員の皆様からあたたかい祝辞をいただきました。楠葉同窓会がいかに多くの方々からご支援いただいているかを改めて感じるとともに、ご多忙な折、原稿をご提供いただきましたこと、誠に感謝申し上げます。

また、今回の編集にあたり一つの柱としましたのが、『『なんよう』の歴史—1～99号を振り返って—』です。編集者が手分けして、これまでの内容をトピック的に簡潔にまとめさせていただきました。

過去の「なんよう」を紐解いていくと、そこからは当時の諸先輩方の活き活きとした学生生活などが想起されます。特に、印象的に感じたのは「不知火寮」を舞台としたエピソードの数々でしょうか。今も大学会館前庭にある記念碑「此の地に不知火寮在りき」の除幕式では、かつての寮生が集まり寮歌「南に遠く」を大合唱したと綴られています。

これからも「なんよう」が皆様のご支援のもと150号、200号へと新たな歴史を刻んでいくことを願わずにはられません。

末尾となりましたが、執筆者の方々、事務局、編集者、そしてこれまで楠葉同窓会に関わられた全ての方々に対して、この場を借りて御礼申し上げます。

佐賀大学楠葉同窓会
会報編集代表者 松尾 和俊
(S58・経)

なんよう100号記念誌

平成26年8月30日

発行 **佐賀大学楠葉同窓会**
佐賀市本庄町 佐賀大学菱の実会館内
TEL 0952-23-1253
FAX 0952-25-5700

印刷 株式会社 昭和堂 佐賀営業所
佐賀市高木瀬西3-9-1
TEL 0952-33-1221

